

# TOYOTOMI

木質バイオマス燃料 ペレットストーブ  
ストーブ ピー

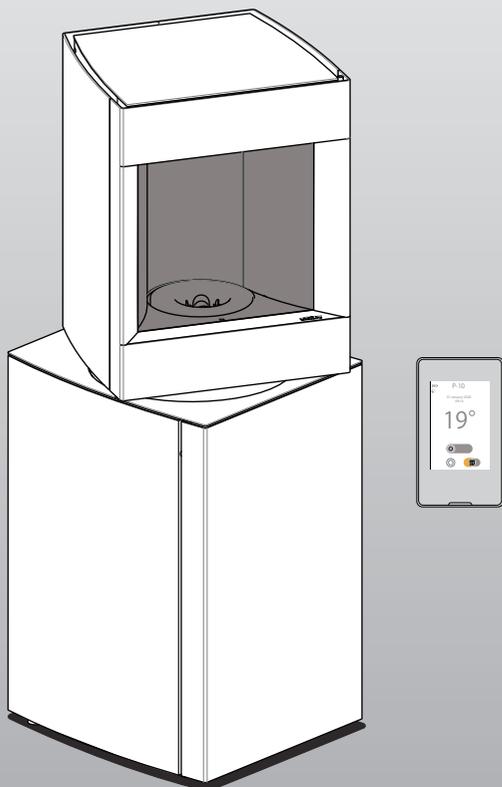
## Stuv P-10

### 取扱説明書 (保証書付き) (裏表紙に付いています。)

このたびは本機をお買い求めいただきまして  
まことにありがとうございます。

■ご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」  
及び別冊の「工事説明書」をよく読んで、  
正しく使用してください。  
この「取扱説明書」は、別冊の「工事説明書」  
とともに大切に保管してください。

■地域によっては、条例により設置できない  
場合もあります。弊社までご相談ください。



●このストーブは「工事説明書」の弊社標準取付け例  
などに基づいて排気管を必ず取り付けてからご使用  
ください。排気管の据付けや移設工事は、販売店  
または据付け業者がおこなってください。  
排気管を取り付けずに使用すると一酸化炭素中毒に  
至るなど重大な危険となるおそれがあります。

#### 目次

1	安全のために必ずお守りください	1~5
2	使用する場所	6
3	仕様	7
	・仕様表	7
4	各部のなまえ	8~10
	・ストーブの部品	8
	・リモコン	9~10
	・感震タップ (附属品)	10
5	構造と燃焼のしくみ	11
6	使用前の準備	12~18
	・リモコンを充電する	11
	・木質ペレット燃料について	12
	・燃料供給のしかた	13
	・点火する前の準備と確認	14~15
	・リモコンのペアリング	16
	・メニュー画面について	17
	・日時の設定のしかた	18
7	使いかた	19~26
	・点火のしかた	19
	・火力調節	20~21
	・スケジュール運転の設定	22~25
	・消火のしかた	25
	・緊急消火のしかた	26
	・燃焼室の回転のしかた	26
8	本体とリモコンの設定	27~30
	・ペレットを送り出す量の設定	27
	・室温センサー検知の設定	28
	・言語の設定	28
	・エコストップ運転	29
	・スマートモード	29
	・リモコンの画面と操作音の設定	30
9	本体情報の見かた	31~33
	・ストーブの状態を表示する	31
	・ストーブの警報記録を表示する	32
	・点検までの残り時間を見る	33
	・システム情報を見る	33
10	日常の点検・手入れ	34~37
11	シーズンオフの点検・手入れ	37
12	定期点検	37
13	故障・異常の見分けかたと処置のしかた	38~41
14	廃棄するとき	42
15	部品交換のしかた	42
16	アフターサービス	42

# 1 安全のために必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しく使用するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- ここに示した表示は、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 <b>警告(WARNING)</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意(CAUTION)</b>	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

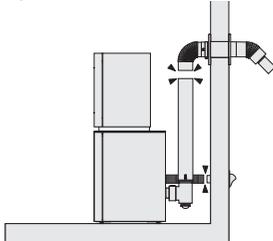
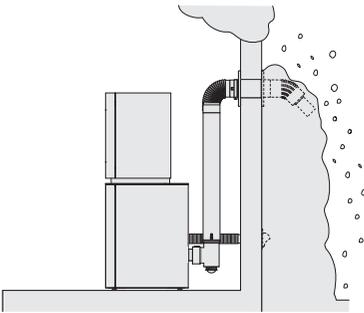
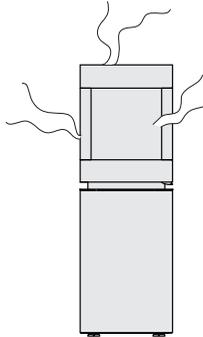
- お守りいただく内容を、次の絵表示で区分しています。

	この絵表示は、「禁止」されている内容です。
	この絵表示は、「注意」していただく内容です。
	この絵表示は、必ずしていただく「指示」内容です。

- 説明文中の「お願い」「お知らせ」事項は、本機を誤りなく正しくお使いいただくための内容が記載されています。



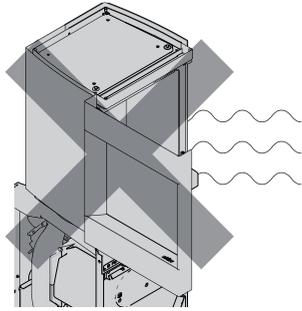
## 警告(WARNING)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>★使用燃料は 木質ペレット以外厳禁</b></p> <p>燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対に入れないでください。 火災の原因になります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>ペレット</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ガソリン</p> </div> </div> </div> <div style="text-align: center;">  <p>禁止</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>★排気管外れ危険</b></p> <p>排気管が正しく接続されているか必ず点検してください。 外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。</p> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center;">  <p>禁止</p> </div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>★給気管・排気管閉そく危険</b></p> <p>積雪の多い地方では給気管や排気管のトップが雪でふさがれないようにしてください。 空気が不足したり、排ガスを再度吸い込んだりして異常燃焼を起こすことがあります。</p> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center;">  <p>禁止</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>★かん合部の外れ危険</b></p> <p>灰受け皿や燃焼室扉・燃料タンク扉などが確実に取り付いていることを確認してください。 外れ・すき間があると運転中に排ガスが室内に漏れて危険です。</p> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center;">  <p>禁止</p> </div>

# 警告(WARNING)

## ★燃焼室扉開放厳禁

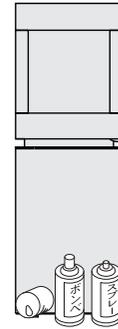
運転中は絶対に燃焼室扉を開けないでください。  
炎や排ガスが室内に漏れて、火災になるおそれがあります。



禁止

## ★スプレー缶厳禁

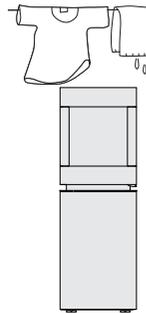
スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどをストーブに近づけたり、周囲に放置しないでください。  
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。



禁止

## ★衣類の乾燥厳禁

衣類などの乾燥には使用しないでください。  
落下した衣類に火がつき、火災の原因になります。



禁止

## ★ライター・マッチなどで着火しない

- 必ず自動点火装置を使用して点火してください。
- ライター・マッチなど裸火で、ペレットに直接点火しないでください。  
やけど・けが・点火不良の原因になります。



注意

## ★リモコンは高温(高温部の近くなど)での充電・使用・放置をしない

リモコンは充電式電池内蔵のため、発熱・発火・破裂の原因になります。



禁止

## ★着火剤は使用しない

バーナーに着火剤を入れて点火しないでください。  
やけど・けが・火災の原因になります。



注意

## ★改造使用の禁止

改造して使用しないでください。  
火災や、排ガスが室内に漏れる原因となり、危険です。



禁止

## ★定期点検の実施

定期的(1シーズンに1回程度)に点検・整備を受けてください。  
点検を受けずに長期間使用し続けると、故障や事故の原因になり危険です。  
点検・整備は販売店に依頼してください。



指示

## ★高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部(燃焼室側板、燃焼室扉、燃焼窓、天板、排気管など)に手をふれないでください。  
やけどのおそれがあります。



接触禁止

## ★災害・停電時は電源を切り、窓を開けて換気する

このストーブは電気式です。停電時は排気ファンが止まり、煙が出ることがあります。  
このようなときはあわてずに窓を開けて換気をしてください。



指示

## ★ご自身での据付け・移設工事の厳禁

お客さまご自身による工事は危険です。  
据付け工事は販売店や専門業者にご依頼ください。(ストーブを移設させる場合も同じです。)



禁止

## ★本体や内部には水をかけない

故障・さびの原因になります。



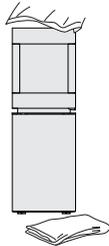
禁止

# 1 安全のために必ずお守りください

## ⚠ 注意 (CAUTION)

### ★カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは、使用しないでください。ストーブ周辺に可燃物を置かないでください。火災の原因になります。



禁止

### ★燃料供給時消火

燃料供給は必ず消火してからおこなってください。火災ややけどをするおそれがあります。



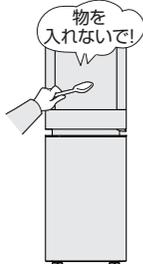
消火

### ★指や異物を入れない

- ストーブ内部や燃焼室内、燃料タンク内には紙、布、プラスチック、スプーンなどの異物を入れないでください。火災や感電、予想しない事故の原因になります。
- すきまや穴に指や棒などを入れないでください。けがや故障のおそれがあります。



禁止



### ★高温部に注意

燃焼中や消火直後は、燃焼室や燃焼窓などに手や顔を近づけないでください。やけどのおそれがあります。



高温注意

### ★回転体に注意

運転中の燃料タンク内などに手などを入れないでください。回転物にはさまれ、けがのおそれがあります。



注意

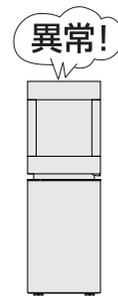
### ★異常・故障時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色、エラー表示を繰り返すなど異常を感じたときは運転スイッチを押して「切」にしてください。異常燃焼のおそれがあります。

- 点火不良で、何度も点火操作をしたあと、燃焼バーナー内に燃料がたまり、点火しにくいことがあります。一度たまった燃料を取り出して処分してから再点火してください。
- 万ーストーブから火が出たり、床などに火がついたときは、あわてずに消火器で消火してください。
- 「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」(38 ページ) に従って処置してください。



使用禁止



### ★推奨外燃料の使用禁止

- 推奨するホワイトペレット (直径 6mm) 以外の燃料の使用はストーブに支障をきたす場合があります。
- 木質ペレット以外の固形燃料などは絶対に使用しないでください。故障や燃焼不良の原因になります。
- 木質ペレットでも、下記の燃料は使用しないでください。



使用禁止

- 粒子状に崩れた粉の多いペレット  
燃料経路内に粉がつまり、ペレットを送ることができなくなります。
- 湿気を帯びた水分の多いペレット  
灰・ススが多くなって燃焼バーナーに灰がたまり、不完全燃焼の原因になります。
- 建築廃棄物由来のペレット  
建築廃棄物の廃材には防腐剤・接着剤・塗料が含まれる場合があります、燃焼によりこれらの化学成分がガス化し、サビや故障の原因になります。

### ★燃料たまり点火の禁止

燃焼バーナー内にペレットをためた状態で点火させないでください。多量の白煙が発生したり、大きな音が出たりして、不完全燃焼や故障の原因になります。



禁止

### ★分解修理の禁止

故障、破損したら、使用しないでください。不完全な修理は危険です。



分解禁止

# ⚠ 注意 (CAUTION)

## ★燃料保管方法の注意

雨風に当たらない屋内で保管してください。  
 湿った燃料を使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。



注意

## ★保管時にしていただくこと

- 保管するときは、燃料タンク内から燃料を抜いてください。  
ペレット燃料が湿る原因になります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。  
火災や予想しない事故の原因になります。



指示

## ★長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。  
 火災や予想しない事故の原因になります。



電源プラグを抜く

## ★お子様やお年寄りのご使用に注意する

お子様やお年寄り、体の不自由な方がお使いになる場合は、やけどや部屋の換気などについて、周囲の人が十分に注意してください。



注意

## ★ぶら下がったり物をのせない

- ストーブにぶら下がったり、燃焼室扉を開けて扉にぶら下がらないでください。  
けがや破損のおそれがあります。
- ストーブの上にものをのせないでください。  
水の入った花瓶や本などのせると、故障や火災のおそれがあります。



指示

## ★換気扇使用の注意

ストーブを使用しているときは室内の換気扇の使用に注意してください。  
 室内が負圧になりわずかなすき間から、排ガスが室内に漏れるおそれがあります。  
 また、換気口・吸気口は常に確保し、物などふさがないでください。



注意

## ★電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこり（及び金属物）を除去してください。  
 ほこりや異物がたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



指示

## ★電源プラグは確実に差し込む

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。  
傷んだ電源プラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。  
差し込みが不完全の場合、発熱による火災の原因になります。
- ぬれた手での抜き差しはしないでください。  
感電の原因になります。



指示

## ★お子様の手の届くところにリモコンを置かない

誤操作による事故や火災のおそれがあります。



禁止

## ★ふく射熱に長時間あたらさない

ストーブに直接長時間あたらさないでください。  
 低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。  
 とくに幼いお子様やお年寄り、病気や身体の不自由な方などの暖房には十分に注意してください。



禁止

## ★電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、傷付けたり、束ねたり、物をのせたり加工しないでください。  
 また、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って引き抜かないでください。  
 電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。



禁止

## ★廃棄するときの注意

本機を廃棄処分するときは、燃料タンク内の燃料を抜き取ってください。  
 燃料が入ったまま廃棄するとリサイクルの際思わぬ事故が発生するおそれがあります。



指示

## ★排気筒トップ付近可燃物近接禁止

排気筒トップの近くに、灯油や可燃物など引火のおそれのあるものを置かないでください。  
 火災のおそれがあります。



禁止

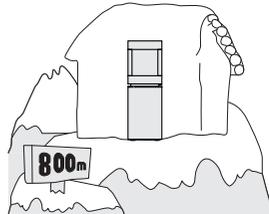
# 1 安全のために必ずお守りください

## ⚠ 注意 (CAUTION)

### ★高地(標高800m以上)でのご使用に注意

高地(標高800m以上)では酸素濃度が薄いため異常燃焼を起こすおそれがあります。

標高800m以上で使用する場合は販売店または弊社までお問い合わせください。



注意

### ★可燃性ガス使用禁止

ストーブを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ガソリン、ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。  
火災の原因になります。



使用禁止

### ★点検・お手入れ時の注意

- 点検・お手入れは必ずおこなってください。  
点検・お手入れはストーブ及び排気管が冷えてからおこなってください。  
やけどのおそれがあります。
- ストーブの表面のお手入れには研磨剤の入ったクレンザーなどは使わないでください。  
塗装の剥がれ、サビの原因になります。



注意

### ★火力は正しく調整する

火力調整は、燃料の供給量を調整しておこなってください。

ペレットの大きさや重さによって、送り出す量(供給量)が異なります。

正しい火力になるように調整してください。

正しく調整されないと、ストーブの過熱や消火の原因になります。



指示

### ★燃焼室内お手入れ時の注意

- 燃焼室内は、ベンジン、シンナー、洗剤類でふかないでください。  
また、研磨剤の入ったクレンザー、化学雑巾などはご使用しないでください。  
変色、塗装の剥がれなどの原因になります。
- 燃焼室内の断熱材(内壁、バーミキュライトリング)は水分を含むと破損しやすくなるため、必ずやわらかいブラシや乾いた布を使用してください。



注意

### ★燃焼バーナー内の残灰蓄積注意

- 燃焼バーナー内に残灰が蓄積した状態で燃焼を続けると異常燃焼を引き起こし、ススによる壁汚染などの原因になります。

燃焼バーナー内の残灰は掃除し、バーミキュライトリング(断熱材)とフレームモデラーを正しくセットしてください。

- ペレット燃料の種類や状態により残灰状態が変わります。  
残灰が短時間で蓄積する場合は、推奨燃料であるか確認してください。



注意

### ★可燃物(木壁、合板、ふすまなど)との距離を離す

- 据付けや移設工事は火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準を守っておこなってください。
- 据付けや移設工事は、販売店または弊社指定店に依頼してください。
- ストーブから周囲の可燃物までの離隔距離は工事説明書のようにしてください。
- 上方の棚などからの落下物がないようにしてください。
- 特に、カーテンなどが本体にふれないようにしてください。
- 家具等からは十分な距離をとってください。  
熱で変形や変色、自然発火することがあります。



指示

### ★移動・運搬時の注意

修理・引っ越しなどでストーブを運搬される時は、燃料タンク内の燃料を抜いてください。



指示

## 2 使用する場所

ストーブを安全に使用するためには場所の選定が大切です。  
場所の選定は「工事説明書の据付け」の項をお読みください。

### 効果的に使用するために

- 冷たい外気に接する窓際や壁側に設置すると、冷気が暖められて対流しますので、お部屋の温度がムラが少なくなり、効果的な暖房ができます。
- お部屋の空気をサーキュレータなどで対流させますと、部屋の温度のムラがより少なくなり、効果的に暖房ができます。

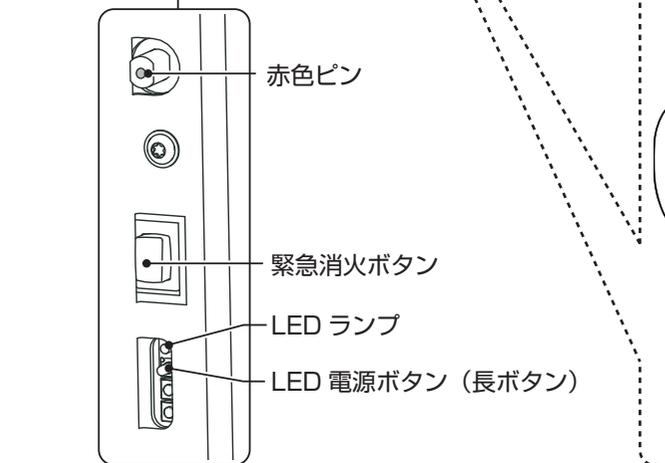
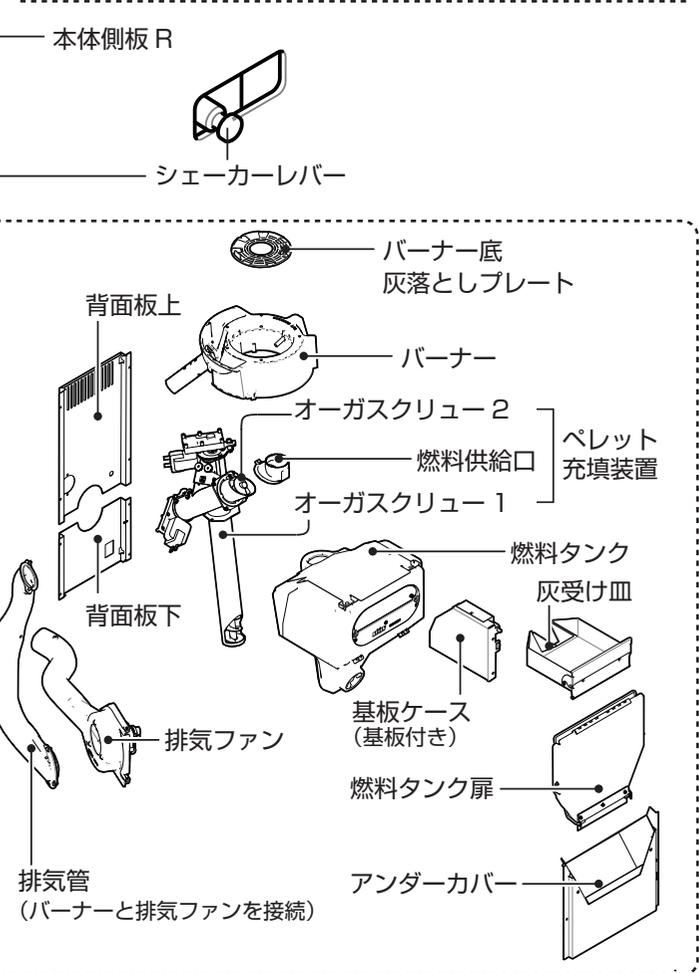
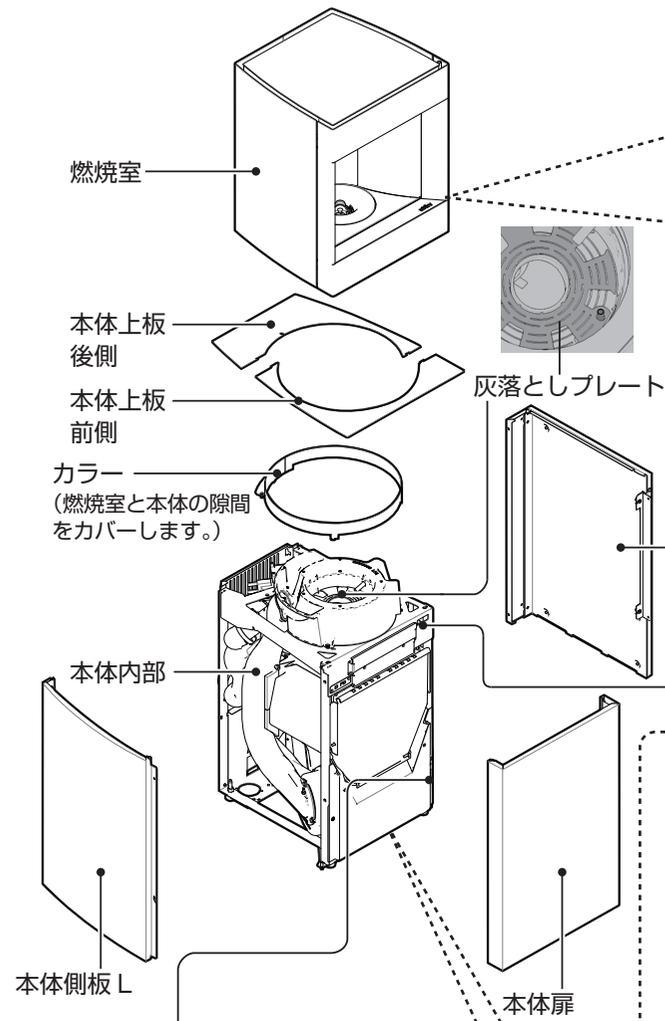
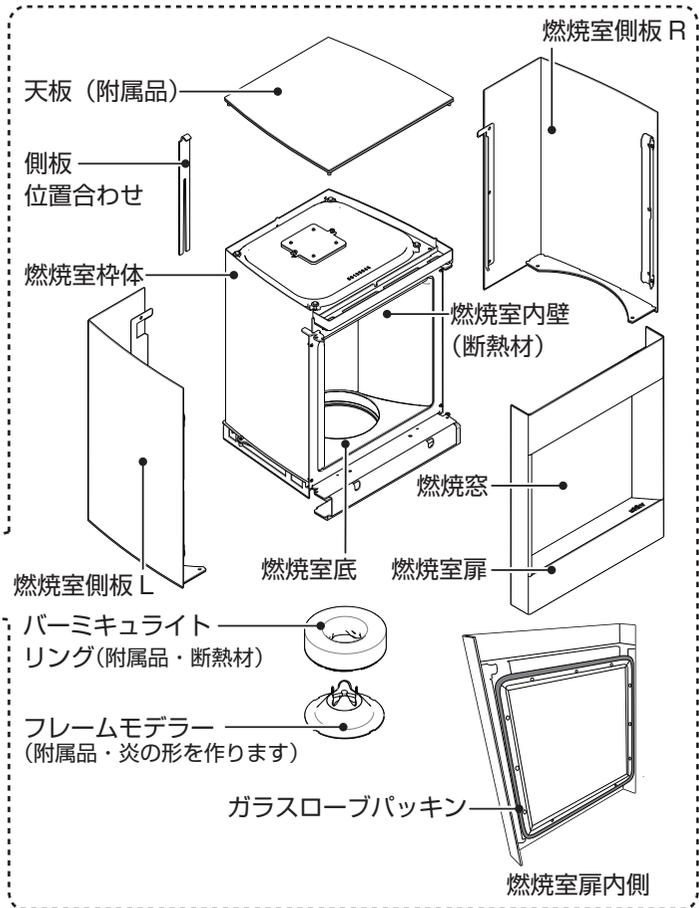
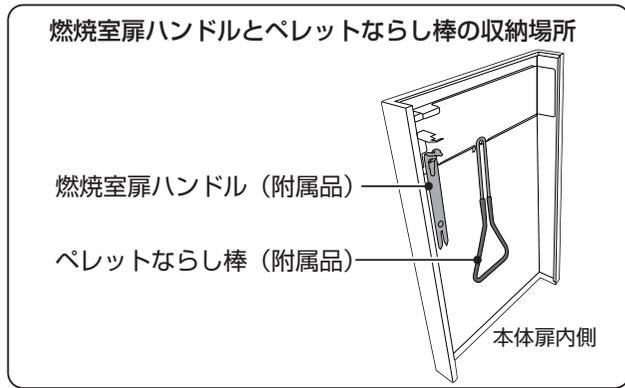
# 3 仕様

## 仕様表

製品名	Stûv P-10	
区分	半密閉式ペレットストーブ	
種類	燃焼方式	直接送風燃焼方式
	給排気方式	強制排気形（または強制給排気形）
	用途別方式	自然対流形
使用燃料	推奨燃料	ホワイトペレット
	直径	φ6mm
点火方式	電気点火	
ストーブの重量（燃料空量時）	175kg	
外形寸法	高さ 1400mm幅 480mm 奥行 565mm	
暖房出力	最大	8.0kW
	最小	2.4kW
熱効率	暖房出力最大時	90.5% (EN14785)
	暖房出力最小時	94.5%
排気温度	暖房出力最大時	約217℃
	暖房出力最小時	約94℃
排気ガス CO (%)	暖房出力最大時	0.001%
	暖房出力最小時	0.028%
電源電圧	AC100V	
定格消費電力 (50Hz/60Hz)	点火時	290W/300W
	点火時最大	580W/630W (点火初期に短時間発生)
	燃焼時	平均 40W
安全装置	点火安全装置、燃焼制御装置、過熱防止装置 停電安全装置、対震自動消火装置 (感震タップ)	
付属品	天板 (1個)、燃焼室扉ハンドル (1個)、電源コード (1個) ペレットならし棒 (1個)、変換プラグ (2個) 感震タップ (1個)、補修用スプレー (1個) フレームモデラー (1個)、バーミキュライトリング (1個) 手袋 (2set)、リモコン (1個)、リモコンホルダー (1個) リモコンホルダー用固定ネジ (2本)、ACアダプター (1個)	

# 4 各部のなまえ

## ストーブの部品

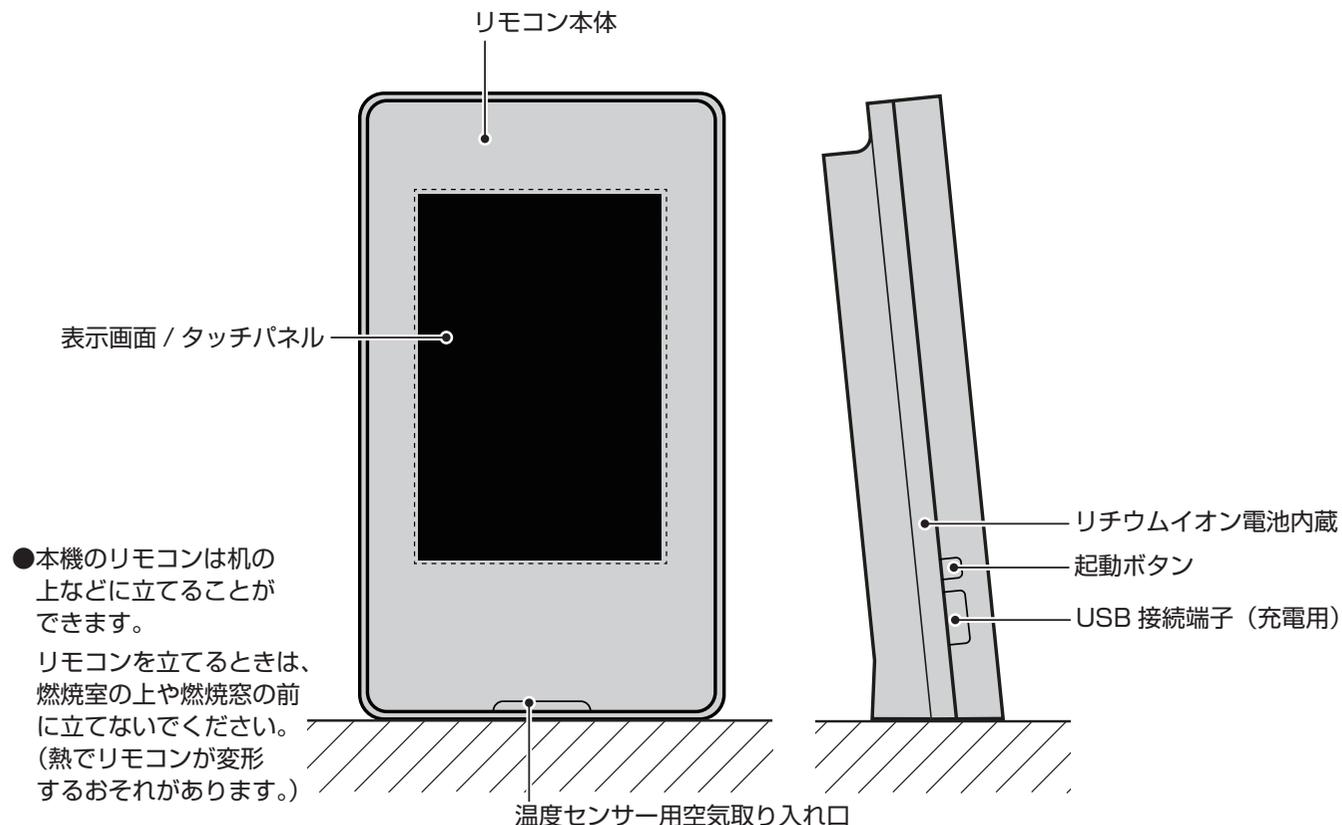


## 4 各部のなまえ

# リモコン

### ■リモコン本体

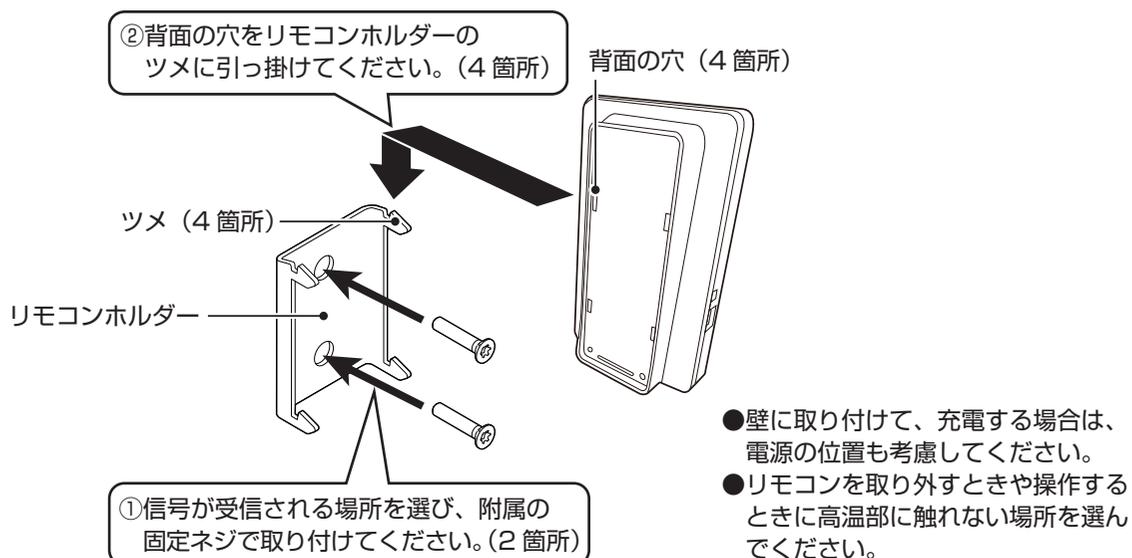
- 本機のリモコンは表示画面部分がタッチパネルになっています。



### タッチパネルについて

- 先のとがったもので操作しないでください。
- 強く押さないでください。
- タッチパネルの操作はゆっくり確実にこなしてください。早く操作すると作動しないことがあります。
- 濡れた手で操作しないでください。
- 衝撃を与えないでください。

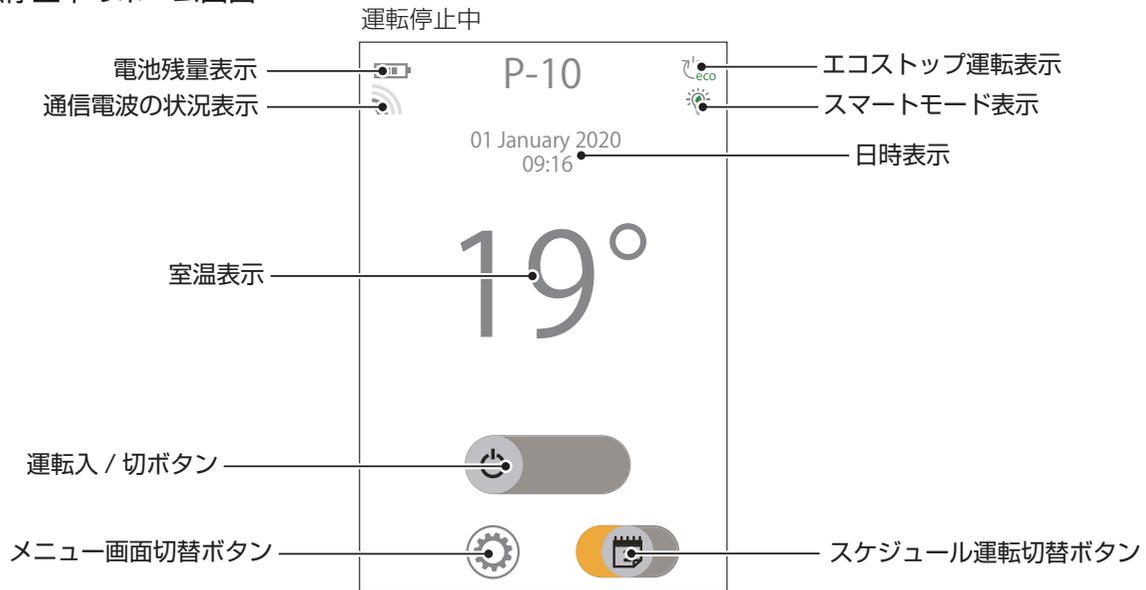
### ■壁などに取り付ける場合



# リモコン(つづき)

## ■ホーム画面の種類

### ●運転停止中のホーム画面



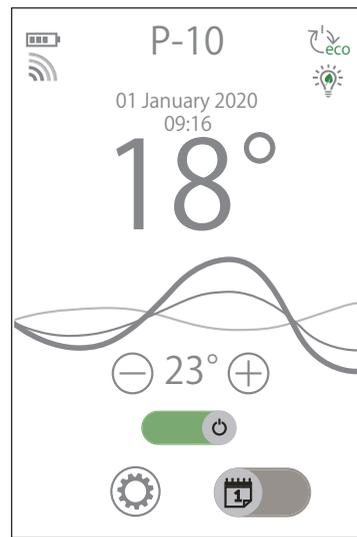
### ●運転中のホーム画面

運転中のホーム画面は **火力調節** (20 ページ) に詳細を示しています。

手動運転中



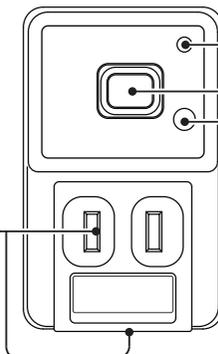
自動運転中



# 感震タップ (附属品)

- 感震タップは地震（震度約 5 以上）などにより、強い振動を受けたとき、火災などの危険を防ぐために自動的に電気の流れを止め、運転を停止させる安全装置です。  
【対震自動消火装置】

2口コンセント  
正面・底面  
●合計 1500W  
以下でお使い  
ください。



### LED ランプ

- 通電停止中にランプが点灯します。
- 地震（強い振動）により通電を停止したことをランプが点灯してお知らせします。

### ON ボタン

- 通電停止中（感震作動状態）に押し、LED ランプが消灯して、通電を開始します。

### TEST (通電 OFF) ボタン

- ボタンを押すと、通電が停止し、約 2～3 秒後 LED ランプが点灯します。

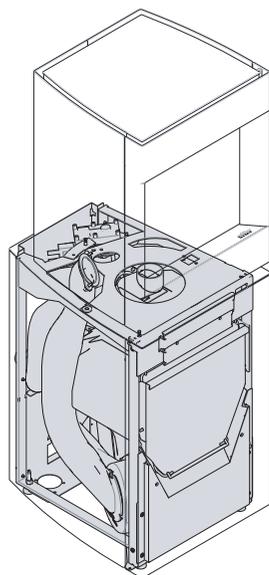
# 5 構造と燃焼のしくみ

## ストーブの構造

●このストーブの本体は上と下に分かれて構成されています。

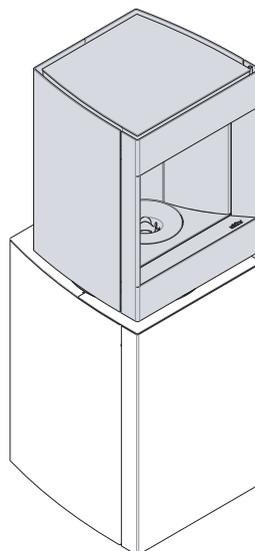
### ■本体下

本体下には燃料タンク、燃料供給装置、灰受け皿、基板などの電装装置が納められています。



### ■本体上

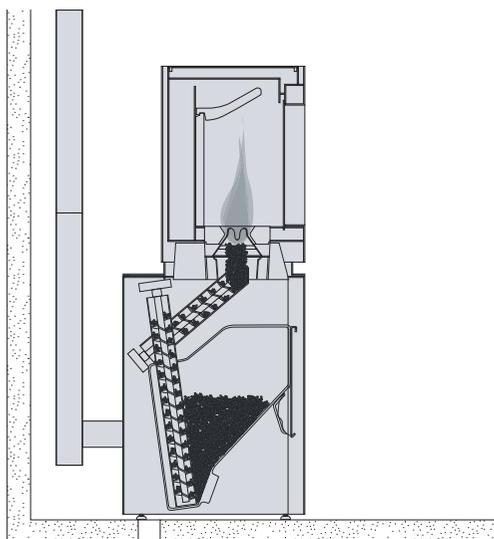
本体上は回転式の燃焼室です。燃焼すると燃焼室の前面から熱を放出します。燃焼室の窓からは炎を眺めることができます。



## ストーブの燃焼のしくみ

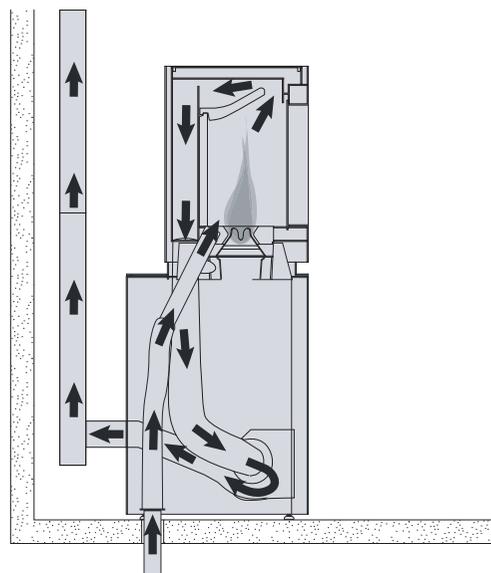
### ■燃料供給のしくみ

このストーブはバーナーの下に燃料タンクを配置しています。2つのオーガスクリューが回り、上方のバーナーへペレット燃料を送ります。



### ■本体内部の空気の流れ

給気管を通して空気を取り入れます。取入れた空気は直接燃焼室に供給されます。



※火力調節は燃料の供給量（オーガスクリューの回転数）と排気量（排気ファンの回転数）を調節することでおこないます。

## 6 使用前の準備

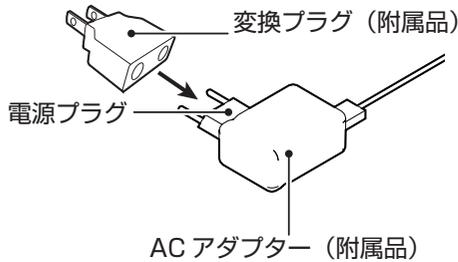
### リモコンを充電する

リモコン充電用の AC アダプターの電源プラグは C タイプのため、変換プラグ(附属品) 取付が必要となります。

#### 1 変換プラグを差し込む。

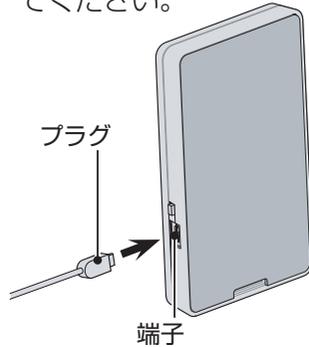
- AC アダプターの電源プラグに変換プラグを差し込んでください。

※初めてのご使用時は、リモコンを約 1 時間充電してください。



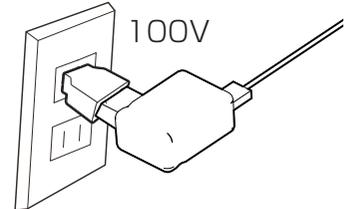
#### 2 リモコンにプラグを差し込む。

- リモコンの端子に AC アダプターのプラグを差し込んでください。



#### 3 コンセントに電源プラグを差し込む。

- リモコンが起動していない状態でコンセントに差し込むと、リモコンが起動して充電を開始します。充電中は電池残量表示が点滅します。



#### お願い

- 必ず附属の AC アダプターを使用してください。
- 長期間使わないときは、満充電に保管し、1 箇月に 1 回は充電してください。(電池残量が少ない状態で保管すると、電池の性能低下や寿命低下の原因になります。)

## 木質ペレット燃料について

ペレットストーブの燃料は山林の伐採、木片、端材、木くずなどから生成された木質ペレットを使用しています。

◎木質ペレットは必ず推奨燃料を使用してください。推奨燃料：ホワイトペレット 直径 6mm

### 警告

#### ★使用燃料は木質ペレット以外厳禁

燃料タンク内には木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を絶対に入れないでください。火災の原因になります。



### 注意

#### ★推奨外燃料の使用禁止

- 推奨するホワイトペレット(直径 6mm) 以外の燃料の使用はストーブに支障をきたす場合があります。
- 木質ペレット以外の固形燃料などは絶対に使用しないでください。故障や燃焼不良の原因になります。
- 木質ペレットでも、下記の燃料は使用しないでください。
  - 粒子状に崩れた粉の多いペレット  
燃料経路内に粉がつまり、ペレットを送ることができなくなります。
  - 湿気を帯びた水分の多いペレット  
灰・ススが多くなって燃焼バーナーに灰がたまり、不完全燃焼の原因になります。
  - 建築廃棄物由来のペレット  
建築廃棄物の廃材には防腐剤・接着剤・塗料が含まれる場合があり、燃焼によりこれらの化学成分がガス化し、サビや故障の原因になります。



#### ★燃料保管方法の注意

雨風に当たらない屋内で保管してください。湿ったペレット燃料を使用すると、不完全燃焼や故障の原因となります。



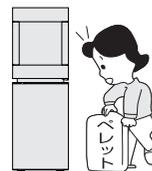
## 6 使用前の準備

### 燃料供給のしかた

#### 注意

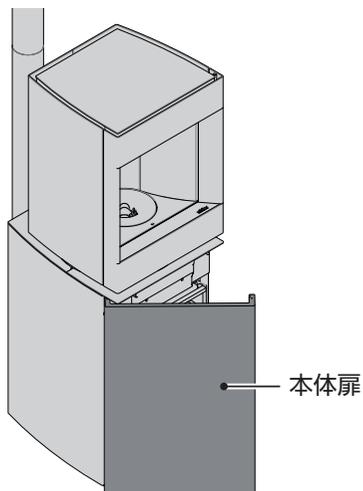
#### ★燃料供給時消火

ペレットを燃料タンクに入れるときは、必ず消火してください。  
火災ややけどのおそれがあります。

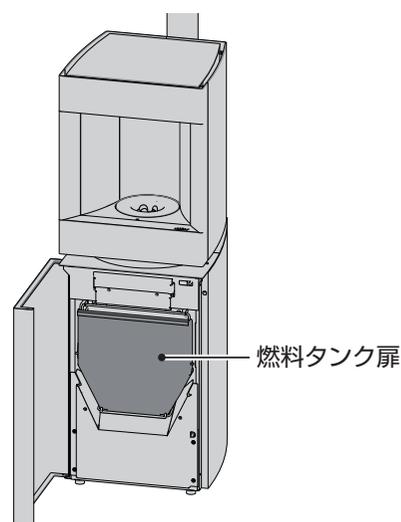


### 1 本体扉と燃料タンク扉を開ける。

①本体扉を開けてください。

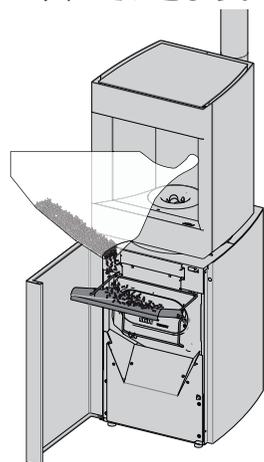


②燃料タンク扉は上部を手前に引いて開けてください。

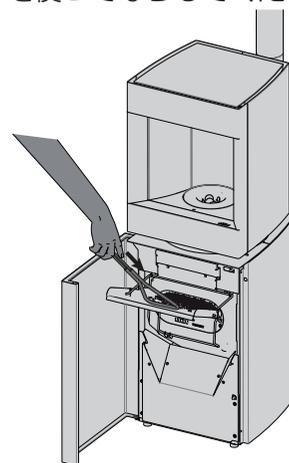


### 2 木質ペレット燃料を投入する。

①開けた燃料タンク扉の上側に木質ペレットを投入してください。  
木質ペレットが燃料タンク扉の上側に沿って、燃料タンクへ入っていきます。



②燃料タンク扉の上側に残った木質ペレットはならし棒で燃料タンク内へ押し入れてください。  
燃料タンク内のペレットが均一の高さになるようにならし棒を使ってならしてください。



### 3 燃料タンク扉と本体扉を閉める。

- 燃料タンク扉は気密を保つため、磁石の力で本体に押しつけられています。  
指や手を挟まないように注意をしてください。

#### お知らせ

- このストーブには燃料タンク内にセンサーがあり、ペレット燃料が少なくなると燃料供給量が少なくなり火力が小さくなります。
- 燃料タンク扉が開いたまま運転すると、リモコンに警告表示が出たり、運転が停止する場合があります。

# 点火する前の準備と確認

## お願い

据付けや移設をして初めて使用するときは、使用した工具が燃焼室内やストーブ内部に残っていないか確かめてください。

### 1 ストーブ周辺に可燃物がないことを確認する

- ストーブ及び排気管の周囲に引火物や可燃物を置かないでください。  
火災や予想しない事故の原因になります。

### 2 排気管が正しく接続されているか確認する。

- 排気管が外れていると運転中に排ガスが室内に漏れて、大変危険です。

### 3 ペレット燃料が入っているか確認する。

- 燃料タンク内のペレットが均一になるようにならしてください。
- 木質ペレット以外の固形燃料やガソリンなどの液体燃料を入れないでください。  
火災や故障・燃焼不良の原因になります。

### 4 燃焼バーナー内の灰を落とす。

- ①本体扉を開いて、シェーカーレバーを10回以上動かして、灰を灰受け皿に落としてください。(15 ページ参照)
- ②本体扉を閉めてください。  
※点火操作するたびに、リモコン画面に灰落とし作業の確認画面が表示されます。

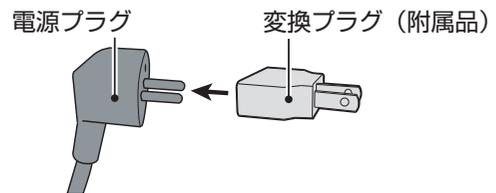
### 5 燃焼室内を確認する。

- ①燃焼室扉を開けてください。(15 ページ参照)
- ②燃焼室内に異物がないか、また極度の汚れや灰がないかを確認してください。  
⇒異物がある場合は取り除き、汚れや灰は掃除機などで取り除いてください。
- ③燃焼室扉を確実に閉めてください。(15 ページ参照)

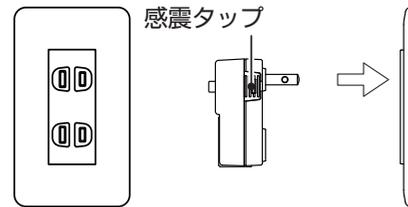
### 6 電源を接続する。

- 電源は必ず 100V12A 以上の専用コンセントをお使いください。
- 感震タップは地震による火災を防止するための安全装置です。感震タップは必ず取り付けてください。

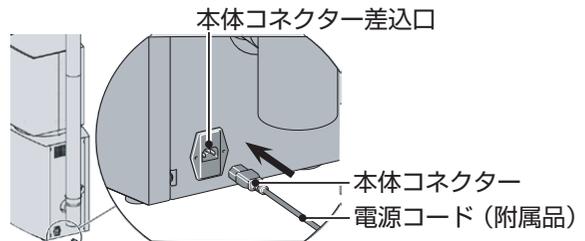
- ①電源コードの電源プラグに変換プラグを差し込んでください。



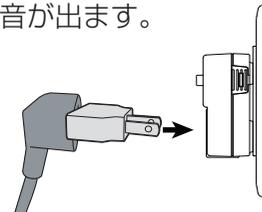
- ②感震タップをコンセントに差し込んでください。



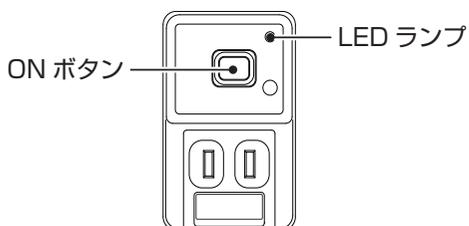
- ③本体背面の本体コネクター差込口に電源コードの本体コネクターを差し込んでください。



- ④感震タップに電源プラグを差し込んでください。電源プラグを差し込んで通電されると、本体から「ピー」と音が出ます。



### ■感震タップの作動について



- 地震(約震度5以上)などにより、強い振動を受け感震タップが作動すると、LED ランプが点灯し、通電停止になります。
- 通電停止中(感震作動)にON ボタンを押すと、LED ランプが消灯し、通電を開始します。

※地震によって作動した場合は、周囲の可燃物がたおれていないか、ストーブの本体や排気管・給気管接続部に外れや異常がないことを確認したのち、通電を再開してください。

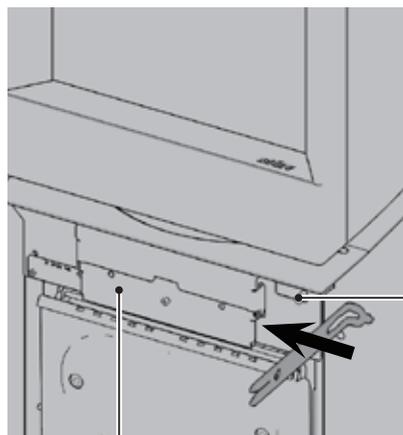
## 6 使用前の準備

### 点火する前の準備と確認 (つづき)

#### ■ 燃焼バーナーの灰を落とすとき

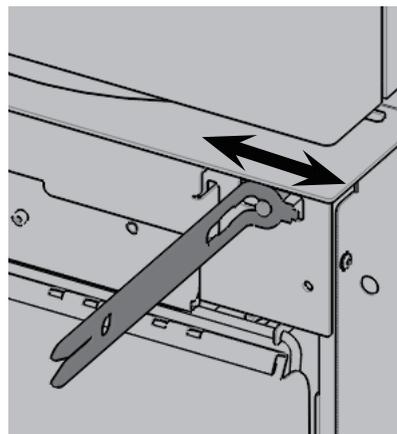
シェーカーレバーを操作する前に、灰受け皿がセットされていることを確認してください。

- ① 本体扉を開けて、燃焼室扉ハンドルをシェーカーレバーに差し込んでください。
- ② シェーカーレバーを左右に10回以上スライドさせてください。



灰受け皿

シェーカーレバー

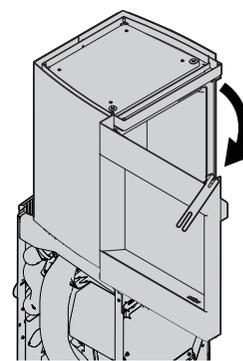
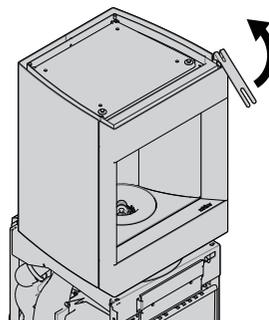
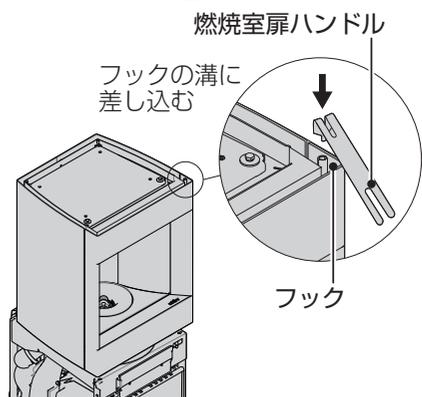


※スライドさせて力をゆるめると、シェーカーレバーは元の位置(右側)に戻ります。

#### ■ 燃焼室内を確認するとき(燃焼室扉の開閉のしかた)

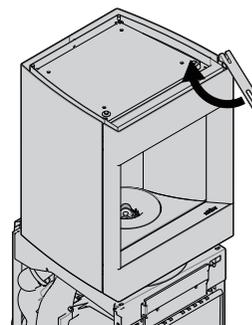
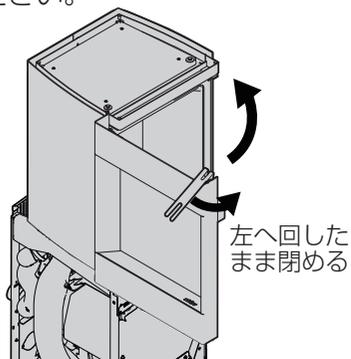
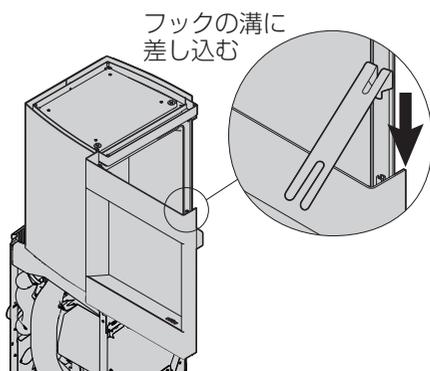
##### 〈開けかた〉

- ① 燃焼室扉ハンドルを扉上部のフックに差し込んでください。
- ② 燃焼室扉ハンドルを左回りに回してください。
- ③ 燃焼室扉を開けてください。



##### 〈閉めかた〉

- ① 燃焼室扉ハンドルをフックに差し込んでください。
- ② 燃焼室扉ハンドルを左回りに回し、燃焼室扉を閉めてください。
- ③ 燃焼室扉を右回りに回して、ロックしてください。

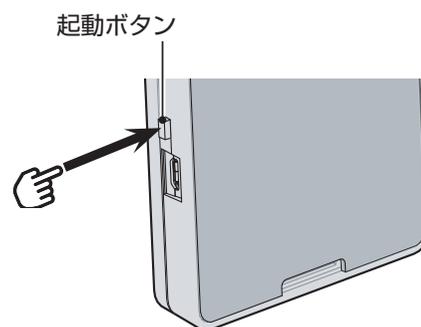


# リモコンのペアリング

- ペアリングとは本体とリモコンを相互認識させることです。  
リモコンをストーブに接続するには、ペアリングが必要です。  
本体とリモコンの接続が途切れてしまった場合は、再度ペアリングの設定をしてください。
- ペアリングの設定は、本体にリモコンを近づけておこなってください。

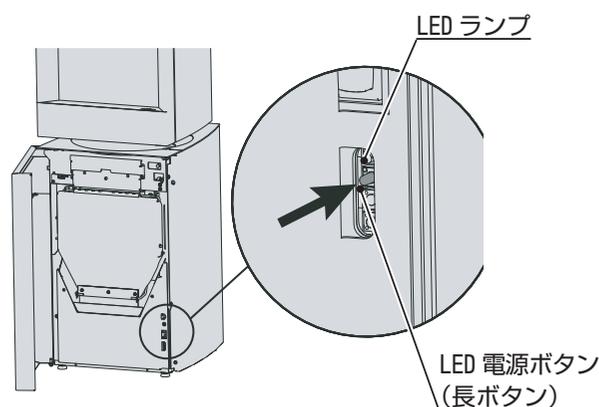
## 1 リモコンの起動ボタンを押す。

- 細い棒状のものを使ってリモコンの起動ボタンを押してください。
- ※リモコンが起動しているときは、リモコンの起動ボタンを押して一旦 OFF にし、もう一度起動ボタンを押して再起動してください。  
(充電中はリモコンを ON⇒OFF へ切り替えができませんので、AC アダプター (リモコン充電用) を一旦取り外してからおこなってください。)



## 2 本体の LED 電源ボタンを長押しする。

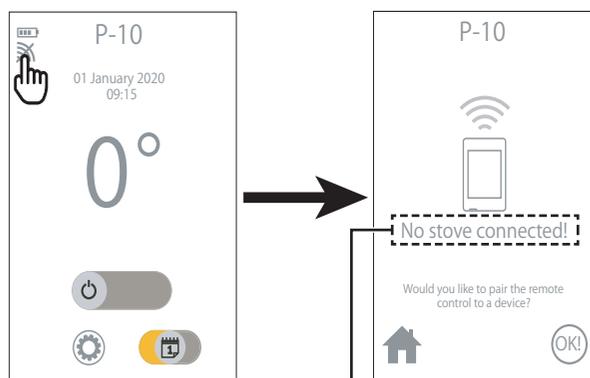
- リモコンを起動してから 1 分以内に本体の LED 電源ボタンを 6 秒以上長押ししてください。  
ペアリングできる状態になると本体の LED ランプが紫色で点滅し始めます。



## 3 リモコンの表示画面にある をタッチする。

-  をタッチするとペアリングの設定画面が表示されます。

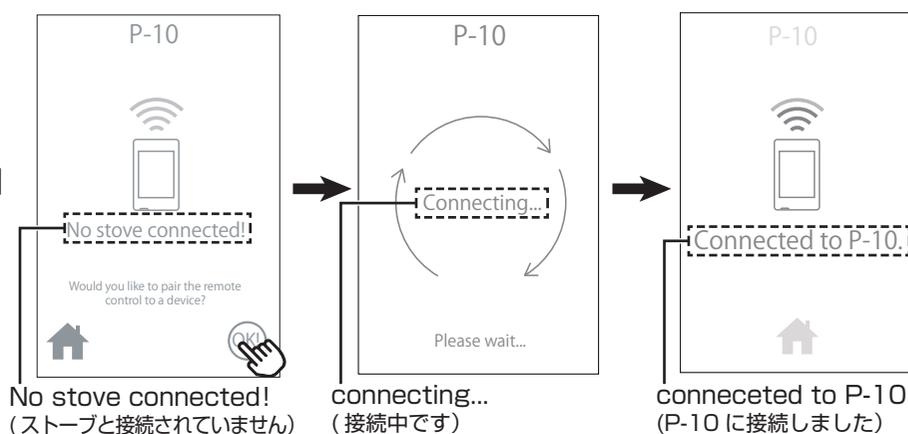
(本体とリモコンの接続がない場合は  が表示されます。)



No stove connected!  
(ストーブと接続されていません)

## 4 をタッチして、ペアリングする。

-  をタッチするとペアリングを開始します。
- ペアリングが完了すると「Connected to P-10.」を表示します。



No stove connected!  
(ストーブと接続されていません)

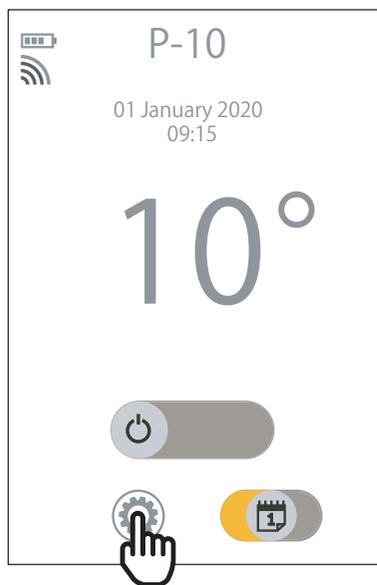
connecting...  
(接続中です)

connected to P-10.  
(P-10 に接続しました)

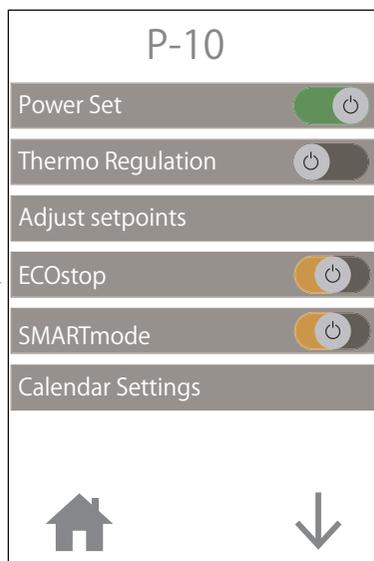
## 6 使用前の準備

# メニュー画面について

ホーム画面



メニュー画面 (1/3)



**火力調節の切替**

火力を設定する手動運転 する / しない  
 温度を設定する自動運転 する / しない

階層	設定
Power set	火力の設定
Thermo Regulation	温度の設定

**運転モード**

エコストップ運転 する / しない  
 スマートモード設定 する / しない  
 スケジュール運転の設定

■メニュー画面の表示のしかた

リモコンの ボタンをタッチする。

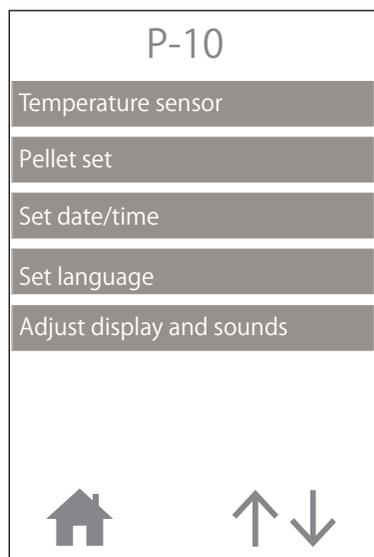
●メニュー画面が表示されます。

をタッチするとホーム画面に戻ります。

をタッチすると次のページに進みます。

をタッチすると前のページに戻ります。

メニュー画面 (2/3)

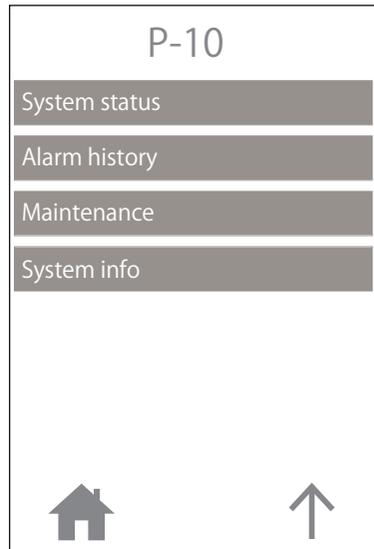


**設定**

室温センサー検知の設定  
 ペレットを送り出す量の設定  
 日時の設定  
 言語の設定

階層	設定・調整
Intencity	画面の明るさ調整
standby mode	画面の消灯時間
Button sounds	操作音の入/切

メニュー画面 (3/3)



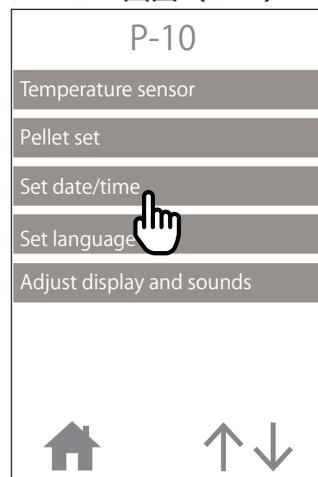
**本体情報**

ストーブの状態  
 ストーブの警報記録  
 点検までの時間 (稼働時間)  
 システム情報

# 日時の設定のしかた

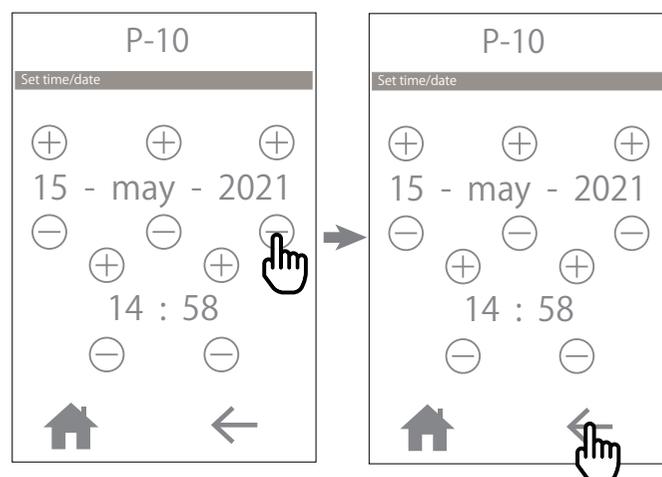
1 リモコンのメニュー画面で「Set date/time (日時の設定)」を選びタッチする。

メニュー画面 (2/3)



2 ⊕ ⊖ ボタンをタッチして日時を合わせて、← ボタンで決定する。

- 上の段に「日 - 月 - 年」が表示されます。月は英語で表示されます。
- 下の段に時刻「時 : 分」が表示されます。
- 数字や文字（月）の上と下にある ⊕ と ⊖ のアイコンにタッチすると数字の増減と文字が変わります。



## ■リモコンの省電力機能

リモコン表示部は一定時間経過すると、表示部が消灯して、電力の消費を抑えます。

画面を表示したい場合は、リモコンのタッチパネルをタッチすると表示します。

省電力機能の画面消灯までの時間は、30 ページの「画面の消灯時間」で変更することができます。

# 7 使いかた

## 点火のしかた

 <b>警告</b>	<b>★ライター・マッチなどで点火しない</b>	 注意
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●必ず自動点火装置を使用して点火してください。</li> <li>●ライター・マッチなど裸火で、ペレットに直接点火しないでください。やけど・けが・点火不良の原因になります。</li> </ul>	
 <b>注意</b>	<b>★着火剤は使用しない</b>	 注意
	燃焼バーナーに着火剤を入れて点火しないでください。やけど・けが・火災の原因になります。	
 <b>注意</b>	<b>★燃料たまり点火の禁止</b>	 禁止
	燃焼バーナー内にペレットをためた状態で点火させないでください。多量の白煙が発生したり、大きな音がしたりして、不完全燃焼や故障の原因になります。	

### 1 リモコンの運転入 / 切ボタン をタッチする。

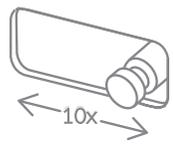
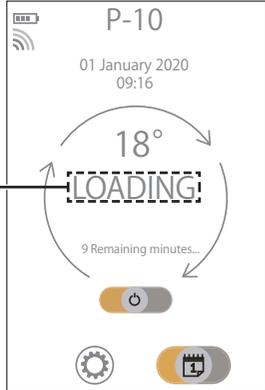
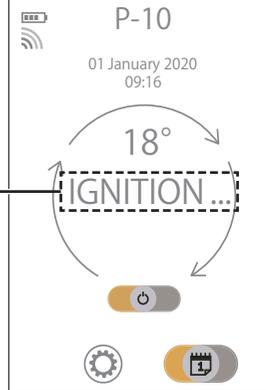
- 点火動作時のリモコン表示に切り替わります。

#### お知らせ

- 点火時には燃焼室内に煙が一時的に充満することがありますが、異常ではありません。
- 点火動作開始から 11~20 分程度経過すると、点火してバーナー内に炎がみえます。炎がみえてくると、充満した煙はなくなっていきます。



### ■点火動作時のリモコン表示と時間経過

 10x Please carry on with the deashing. ← (OK)	 P-10 01 January 2020 09:16 18° [LOADING] 9 Remaining minutes...	 P-10 01 January 2020 09:16 18° [IGNITION...]	 P-10 01 January 2020 09:16 18° 23°
灰落とし作業の実施。 シェーカーレバーを 10 回以上動かす。実施したら、(OK) をタッチしてください。	センサーとオーガモーターのチェック及びペレットの充填。(約 9 分間) LOADING (読み込み中です)	点火と初期運転。 (スタートから約 30 分間) IGNITION...(点火中)	本燃焼。

#### お願い

- 点火不良で、何回も点火操作をすると、バーナー内にペレットがたまりまます。点火不良などでバーナーにたまったペレットは必ず取り除いてから点火してください。ペレットがたまった状態で点火して、炎が大きくなり過剰燃焼した場合は、あわてずに 25 ページの「消火のしかた」や 26 ページの「緊急消火のしかた」に従って、消火をおこなってください。電源プラグはコンセントから抜かずに、たまったペレットが燃えつきるまで待ってください。
- ご購入して初めて使用されるときに、製品の塗料やパッキンなどの焼けるようなニオイがする場合があります。このような場合は、お部屋の窓を少し開け、半日から 1 日程度、運転をしてください。
- 使用後は、燃焼バーナーや灰受けから灰を取り除いてください。
- 20 時間使用ごとに消火してください。連続使用は本体の痛みを早めるおそれがあります。

# 火力調節

## ■火力調節について

本機の火力の調節は、ボタンで火力レベルを設定する手動運転とボタンで室温を設定する自動運転があります。

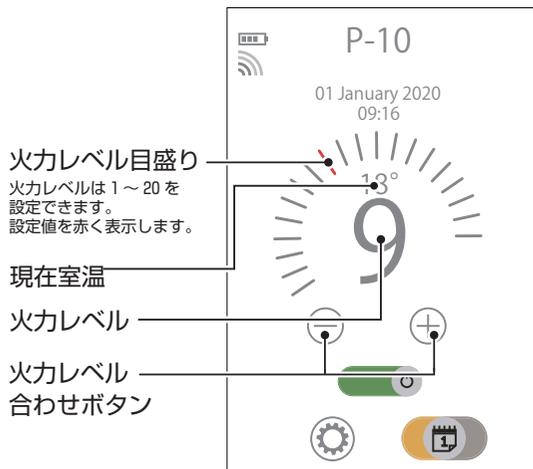
## ■スケジュール運転時の火力調節について

スケジュール運転では「低め」「中間」「高め」の3種類の温度設定ができます。(22 ページ)  
※スケジュール運転では、火力レベルを手動で設定することはできません。

## ■手動運転と自動運転のリモコン表示

### 手動運転中のホーム画面

手動運転：お好みの火力レベルを設定して運転します。

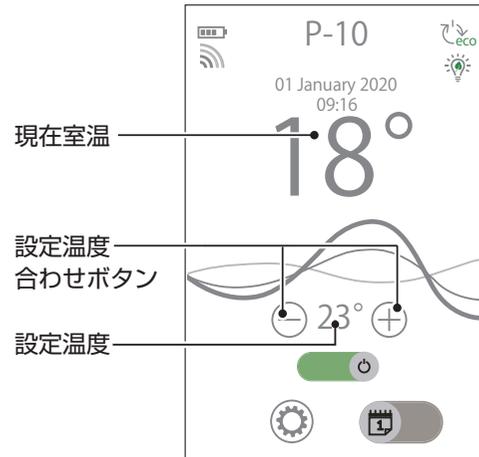


### お知らせ

火力1~4は工場出荷の状態の設定ができないようになっています。火力が小さすぎると、煙突の設置条件によっては排気できないことがあります。制限の解除は設置業者が煙突の設置状態をよく確認した上でおこなってください。

### 自動運転中のホーム画面

自動運転：お好みの温度を設定して運転します。



### お知らせ

自動運転中は、スマートモード、エコストップ運転を設定することができます。(設定のしかたは29ページ参照)

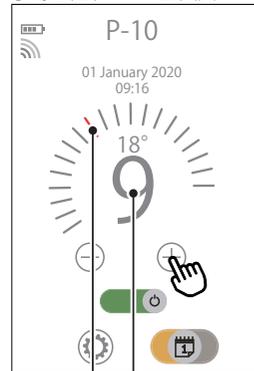
## ■設定のしかた

### 火力レベル設定のしかた (ホーム画面で設定)

#### 1 手動運転中のホーム画面で $\ominus$ $\oplus$ をタッチする。

- $\ominus$   $\oplus$  ボタンをタッチして火力レベルの設定を増減します。タッチするたびに火力レベル設定の数値が切替わります。現在の稼働レベルは目盛り(赤色)で表示されます。
- 火力レベルは標準で5から20まで調節できます。

手動運転中のホーム画面



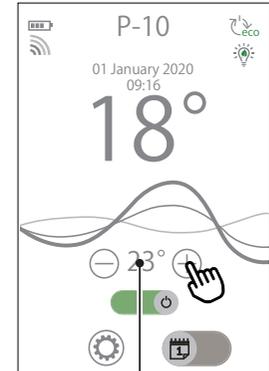
現在の火力レベル目盛り

### 温度設定のしかた (ホーム画面で設定)

#### 1 自動運転中のホーム画面で $\ominus$ $\oplus$ をタッチする。

- $\ominus$   $\oplus$  ボタンをタッチして設定温度の数値を増減します。タッチするたびに設定温度の数値が切替わります。
- 設定温度は5°Cから35°Cまで調節できます。

自動運転中のホーム画面



設定温度

## 7 使いかた

### 火力調節 (つづき)

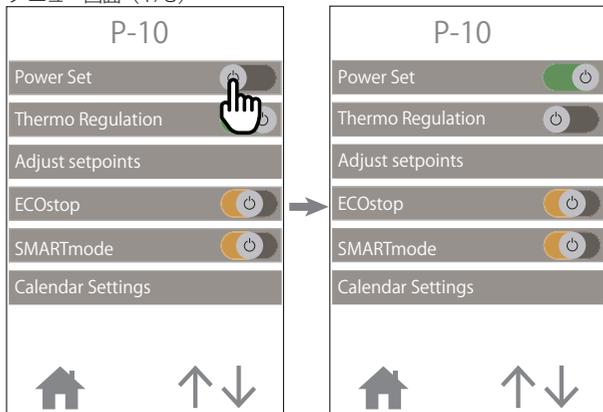
#### ■切替えのしかた

##### 自動運転から手動運転への切替え

1 メニュー画面で「Power Set (火力レベルの設定)」手動運転ボタンをタッチする。

- 手動運転に切り替わると、「Power Set」ボタンが右に移動し、背景が緑色になります。

メニュー画面 (1/3)

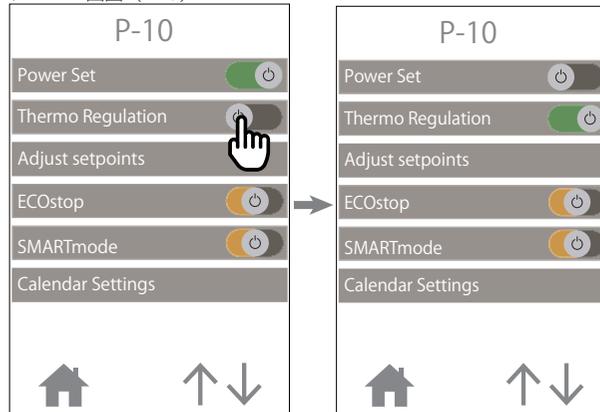


##### 手動運転から自動運転への切替え

1 メニュー画面で「Thermo Regulation (温度の設定)」自動運転ボタンをタッチする。

- 自動運転に切り替わると、「Thermo Regulation」ボタンが右に移動し、背景が緑色になります。

メニュー画面 (1/3)

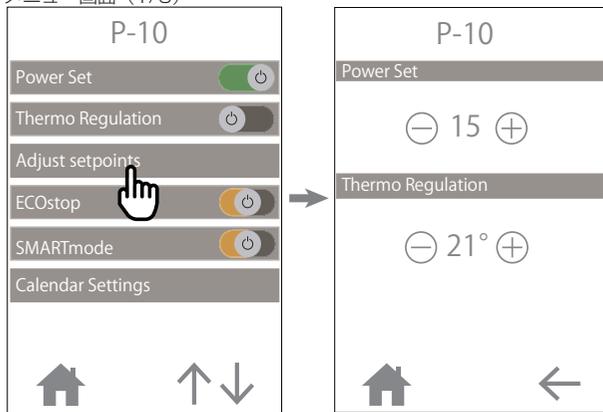


#### ■運転停止中の設定のしかた (点火する前にあらかじめ、設定したいとき)

##### 火力レベル設定のしかた (メニュー画面から設定)

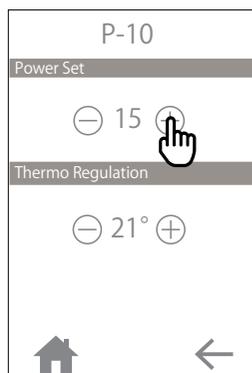
1 メニュー画面で「Adjust setpoints (設定を調整)」をタッチする。

メニュー画面 (1/3)



2 「Power set (火力レベルの設定)」の  $\ominus$   $\oplus$  ボタンをタッチする。

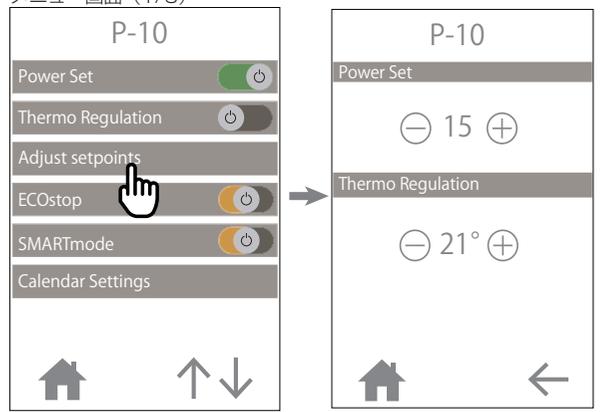
- 火力レベルは標準で5から20まで調節できます。



##### 温度設定のしかた (メニュー画面から設定)

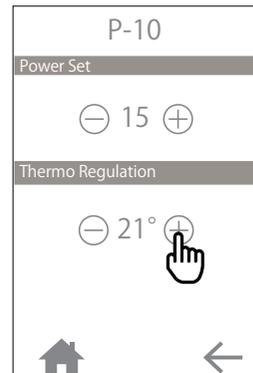
1 メニュー画面で「Adjust setpoints (設定を調整)」をタッチする。

メニュー画面 (1/3)



2 「Thermo Regulation」(温度の設定)の  $\ominus$   $\oplus$  ボタンをタッチする。

- 温度設定は5°Cから35°Cまで調節ができます。



## スケジュール運転の設定

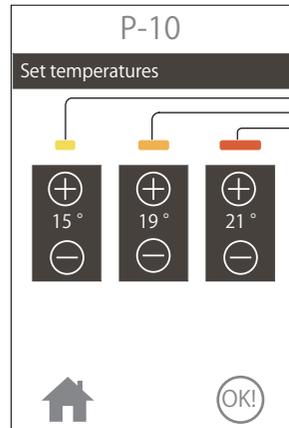
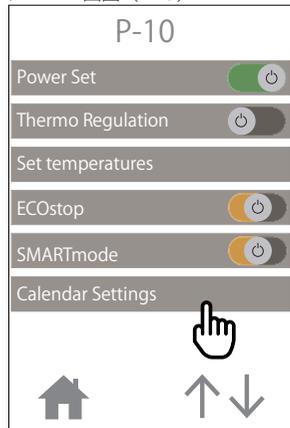
- スケジュール運転では「低め温度設定」「中間温度設定」「高め温度設定」「運転停止」の運転状態を30分ごとに設定することができます。
- 「低め温度設定」「中間温度設定」「高め温度設定」では、それぞれ室温を設定して、設定温度になるように運転をします。火力レベルの設定はできません。
- スケジュール運転は曜日ごとに設定して、一度設定すれば毎週同じスケジュールで運転をします。

### ■スケジュール運転時の温度設定をする

#### 1 メニュー画面で「Calendar Settings (スケジュールの設定)」を選びタッチする。

- 「低め温度設定」「中間温度設定」「高め温度設定」の温度設定画面が表示されます。

メニュー画面 (1/3)



低め温度設定：黄色バー

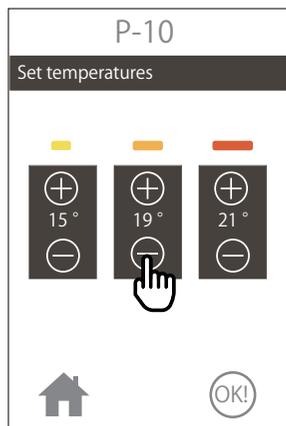
中間温度設定：オレンジ色バー

高め温度設定：赤色バー

※バーの長さとしにより  
温度設定が3種類に区分されます。

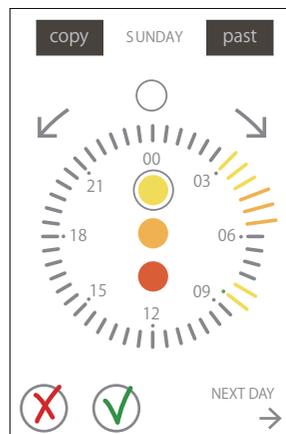
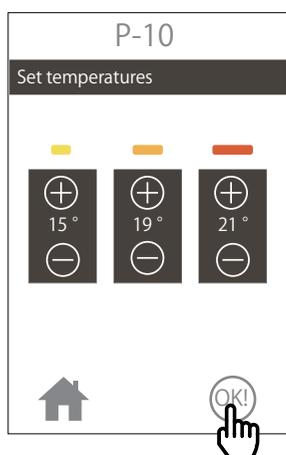
#### 2 ①② ボタンで温度を設定する。

- 「低め温度設定」「中間温度設定」「高め温度設定」それぞれの設定温度をお好みの温度に設定してください。



#### 3 ③ ボタンを押す。

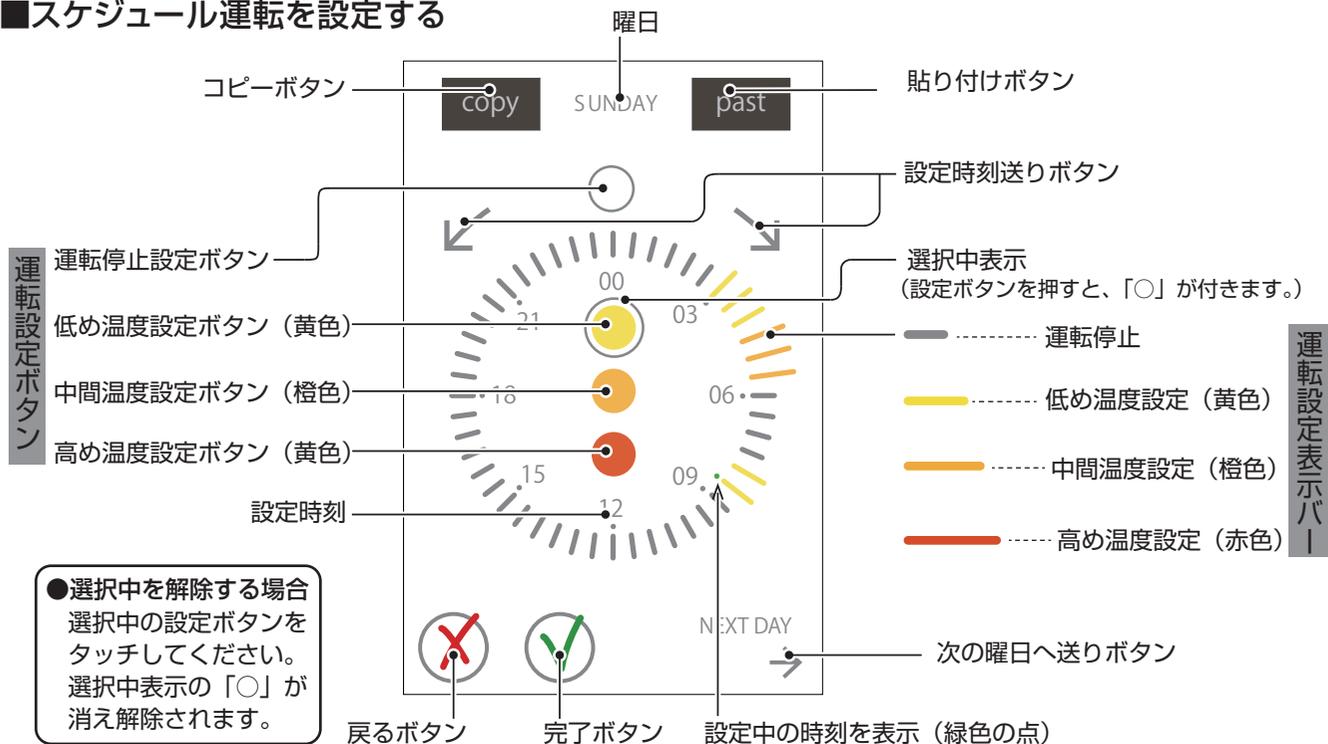
- 温度を設定後、③ ボタンを押すと、日曜日 (SUNDAY) のスケジュール設定画面が表示されます。



## 7 使いかた

# スケジュール運転の設定 (つづき)

### ■スケジュール運転を設定する



#### 運転設定を選択中から設定するとき

選択中は時刻を送るだけで、設定されます。

#### 1 運転設定ボタンをタッチし、選択中にする。

- 「運転停止」、「低め温度」、「中間温度」、「高め温度」から運転状態を選んでください。
- 選んだボタンに選択中表示「○」がつきます。

#### 2 設定時刻送りボタンをタッチする。

- 時刻を次へ送ると、緑色の点に移り選択中の運転状態が設定されます。運転状態を切り替えるときは、運転設定ボタンをタッチしてください。運転表示バーが切り替わります。
- 同じ設定を繰り返すときは、選択中のまま、設定時刻送りボタンをタッチしてください。

#### 途中の設定を変更するとき

設定完了後や設定中、部分的に設定を変更したいときは、設定の選択を解除してください。

#### 1 選択中の設定ボタンをタッチする。

- 選択表示の「○」が消えます。

#### 2 設定時刻送りボタンをタッチして、設定する時刻へ移動する。

- 緑色の点を設定する時刻へ移動してください。

#### 3 運転設定ボタンをタッチして、設定を選ぶ。

- 「運転停止」、「低め温度」、「中間温度」、「高め温度」から運転状態を選んでください。
- 運転設定ボタンを押すと、緑の点があるバーの色が運転設定に応じて変わります。

#### 別の曜日を設定するとき

- 次の曜日へ送りボタンを押すたびに、曜日が変わります。
- 次の曜日にかえたら、運転スケジュールを設定してください。
- 設定した運転スケジュールをコピーして、別の曜日のスケジュールとして貼り付けすることができます。

#### 〈運転スケジュールのコピーについて〉

- ①コピーする曜日を選び、コピーボタンをタッチしてください。
- ②貼り付ける曜日を選び、貼り付けボタンをタッチしてください。
- ③完了ボタンをタッチしてください。

#### 運転スケジュールの設定完了

運転スケジュールを設定したら、必ず完了ボタンをタッチする。

- 完了ボタンを押さないと、運転スケジュールは保存されません。
- 設定を途中でやめる場合は戻るボタンをタッチしてください。
- 完了ボタンを押すと「Please Wait」表示が出た後、設定を受けつけて、スケジュール設定画面に戻ります。

## スケジュール運転の設定 (つづき)

### ■スケジュール運転を有効にする

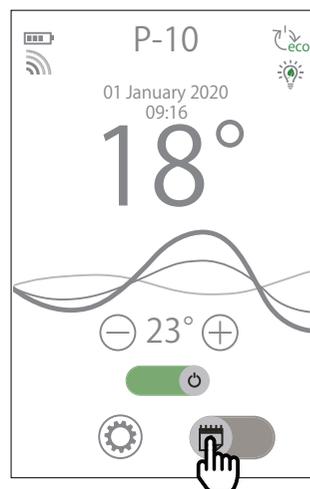
- 自動運転のホーム画面でスケジュール運転を有効にします。

#### 1 1 ボタンをタッチする。

- スケジュール運転が有効になり、設定したスケジュールで運転します。

#### お願い

- スケジュール運転が有効中でも定期的に灰の掃除をしてください。  
灰の掃除をするときは、必ず運転を停止にして、ストーブが十分に冷めてからおこなってください。
- スケジュール運転が有効なときは、ストーブが点火したり、消火したりして動作をします。  
運転を完全に停止するときは、運転入/切ボタンを「切」にしてください。



- 手動運転をしている場合は、スケジュール運転を有効にすることができません。

スケジュール運転を有効にする場合は、火力調節のしかたを「自動運転」に切替えてください。



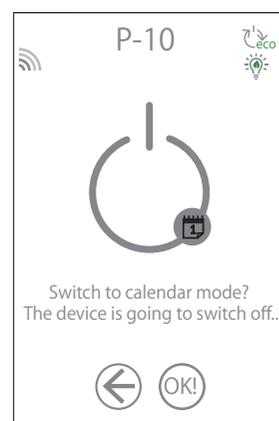
手動運転時は

- 1 ボタンがスライド部の中央にあり、スライドすることができません。

- ストーブ燃焼中にスケジュール運転を有効にしたとき、その時刻に運転停止が設定されていると、消火の確認画面が表示されます。

OK! ボタンをタッチすると、運転スケジュールが有効になり、消火動作をします。

← ボタンをタッチすると、運転スケジュールが有効にならず、燃焼を継続します。



#### お知らせ

- 警報音が鳴り、異常やエラーが発生した場合は、スケジュール運転が自動的に無効になります。  
異常やエラーが解決したら、再度、スケジュール運転を有効にする必要があります。

## 7 使いかた

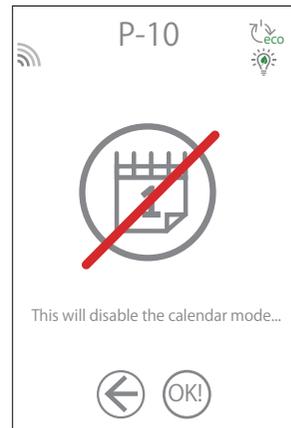
### スケジュール運転の設定 (つづき)

#### ■スケジュール運転を有効中に運転入/切ボタンを「切」にしたとき

スケジュール運転が有効の状態、運転入/切を「切」にしたとき、スケジュール運転を無効にする確認画面が表示されます。

Ⓚ ボタンをタッチすると、消火動作に入りスケジュール運転が無効になります。

⬅ ボタンをタッチすると、スケジュール運転が無効にならず、スケジュール運転を継続します。(運転継続)



### 消火のしかた

#### 1 運転入/切 Ⓚ ボタンをタッチする。

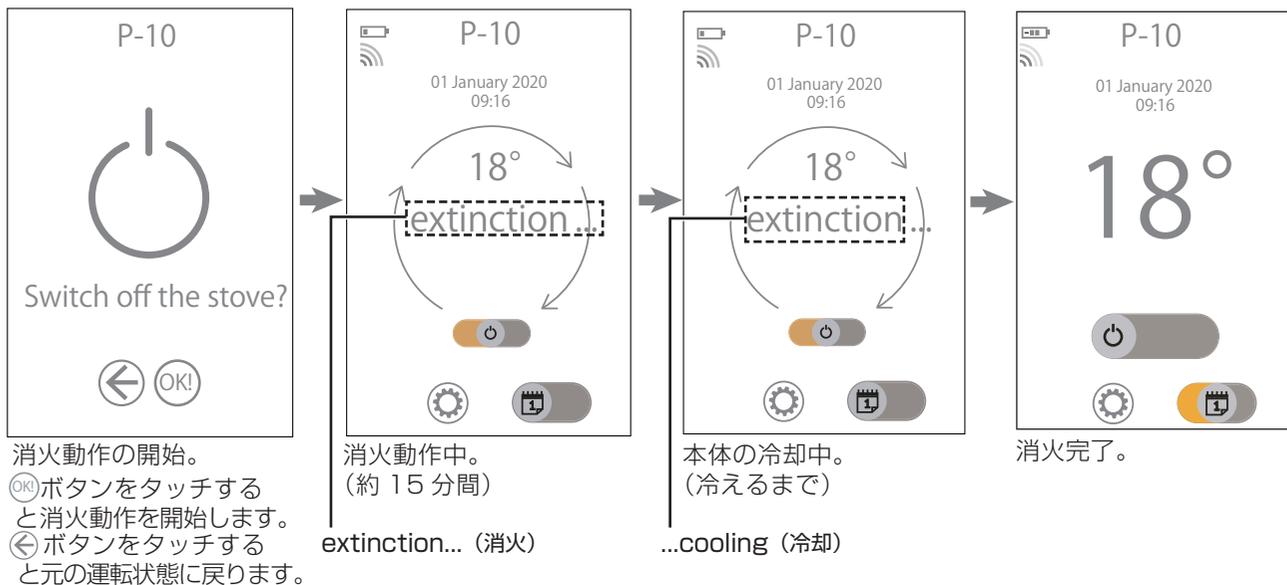
- 消火動作時のリモコン表示に切り替わります。
- 2つのオーガーマーターのうち1つがしばらく駆動を続けます。(約15分間駆動)

#### お願い

- 消火は必ず「Ⓚ 運転入/切ボタン」か本体の緊急消火ボタンを使用してください。電源プラグをコンセントから抜き取って消火することは、絶対にやめてください。(機器が異常過熱したり、事故の原因になります。)



#### ■消火動作時のリモコン表示と時間経過



#### お願い

- 点火操作して、しばらくの間はリモコンで運転停止させることができません。運転開始直後に運転を停止したい場合は、次ページの緊急消火ボタンを使って消火してください。
- 消火後、本体が冷めるまで30分～90分は再点火できません。

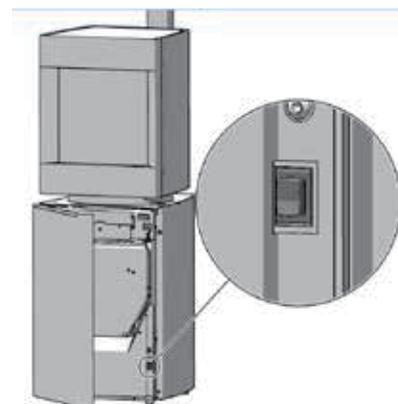
## 緊急消火のしかた

におい、ススの発生、炎の色に異常を感じたときは、緊急消火ボタンを使って消火してください。  
リモコンが使用できないときや紛失したときにも、緊急消火ボタンを使って消火してください。

### 1 本体扉を開く。

- 緊急消火ボタンは、本体扉を開くと、右下の位置にあります。

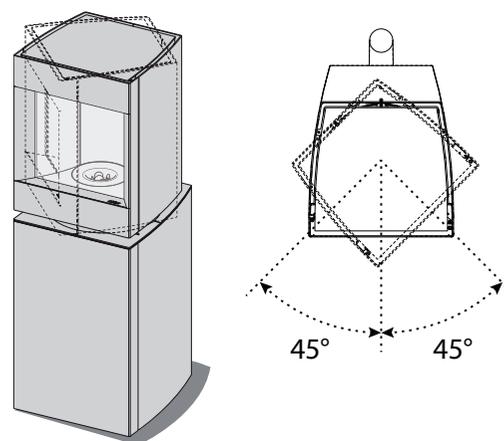
### 2 緊急消火ボタンを3秒以上長押しする。



## 燃烧室の回転のしかた

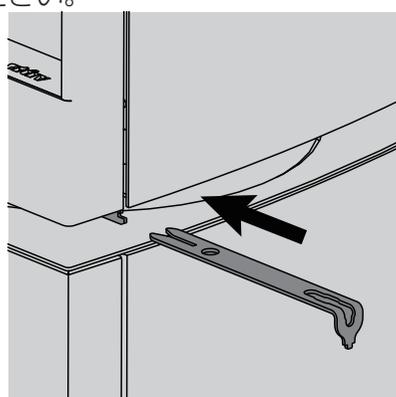
本機の燃烧室は左右45°づつ回転して向きを変えることができます。  
燃烧室を回転するときは、必ず燃烧室ハンドルをご使用ください。

※燃烧室は燃烧中や燃烧停止してしばらくの間、高温のため、手で触れないでください。



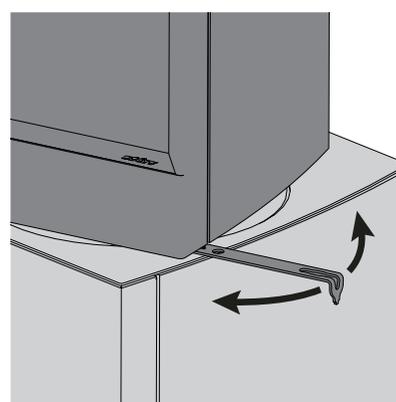
### 1 燃烧室右下に燃烧室扉ハンドルを差し込む。

- 燃烧室扉の右下にある金具に差し込んでください。



### 2 燃烧室を回転する。

- 燃烧室扉ハンドルを持って、燃烧室を回転してください。



#### お願い

- 燃烧室を向けた方向に可燃物がないことを確認してください。

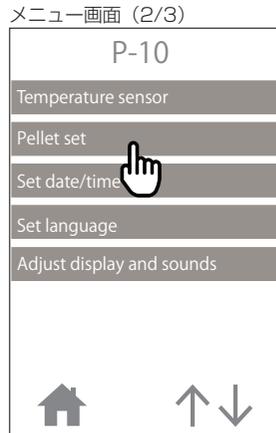
## 8 本体とリモコンの設定

### ペレットを送り出す量の設定

ペレットの種類や設置条件によって炎が大きくなったり、小さくなったりすることがあります。ペレットの種類、大きさや重さによってオーガスクルーが送り出す量が変わります。本機は、ペレットを送り出す量を調節（オーガモーターの回転速度調節）して、ペレットの種類や設置条件の違いに対応します。

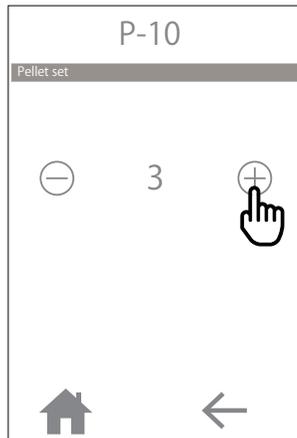
#### ■ペレットを送り出す量の設定のしかた

1 メニューで「Pellet set（ペレットの設定）」を選びタッチする。



2 ⊖ ⊕ ボタンをタッチして火力レベルを選び、← ボタンをタッチする。

- ⊖ ⊕ ボタンで火力レベルの増減をします。
- ペレットを送り出す量の設定値は、0~6 です。工場出荷時は 3 に設定されています。
- 設定値が 4 以上では火力レベルの最大値が下表のように小さくなります。



	ペレットを送り出す量設定値	火力レベルの最大値
↑ 少なくなる	0	20
	1	20
	2	20
標準	3	20
↓ 多くなる	4	19
	5	18
	6	17

#### ■燃焼状態からペレットを送り出す量を調節する

- ・ 炎が大きく、燃焼室の上部に当たる。
- ・ 炎の先端がオレンジ炎。
- ・ 燃焼窓のガラスにススが付着。

・ ペレットを送り出す量が多すぎます。少なくしてください。（排気温度が高くなり、安全装置が作動して停止するおそれがあります。）

- ・ 炎が小さい。
- ・ 炎が明るい。
- ・ 細かい灰が付着して、燃焼室窓のガラスが白くなる。

・ ペレットを送り出す量が少なすぎます。多くしてください。

#### お知らせ

ペレットの形状や粉化の度合いによって、同じ設定値でも送り出す量が変わります。

## 室温センサー検知の設定

本機は室温センサーがリモコンと本体に搭載されています。  
初期設定では、リモコンにある室温センサーで検知しています。  
リモコンで検知した室温は無線で本体へ送られます。

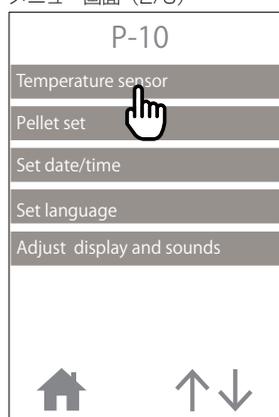
### お願い

- リモコンで室温を検知しているときは、リモコンを直射日光の当たる場所や燃焼室の近くに置かないでください。
- また、本機が設置してある部屋以外にリモコンを置かないでください。

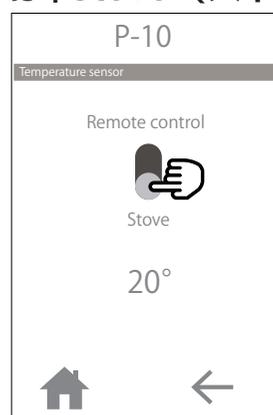
### ■ 室温センサー検知位置の切替えのしかた

1 メニューで「Temperature sensor (温度センサー)」を選びタッチする。

メニュー画面 (2/3)



2 ボタンをスライドして「Remote control (リモコン)」または「Stove (ストーブ)」を選ぶ。



- 「Remote control」を選ぶとリモコン側で温度を検知します。
- 「Stove」を選ぶとストーブ本体側で温度を検知します。

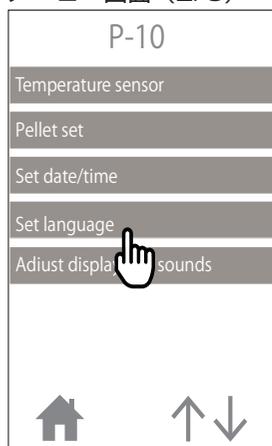
### お知らせ

- リモコン側で室温検知している場合、充電がなくなると、ストーブ本体側での室温検知へ自動的に切替わります。
- 室温検知位置が異なるため、リモコン側とストーブ本体側で検知される温度は一致しません。
- 室温の表示は、室温センサーが検知した室内温度の目安です。設置方法やリモコンの置き場所により寒暖計の温度とは一致しないことがあります。

## 言語の設定

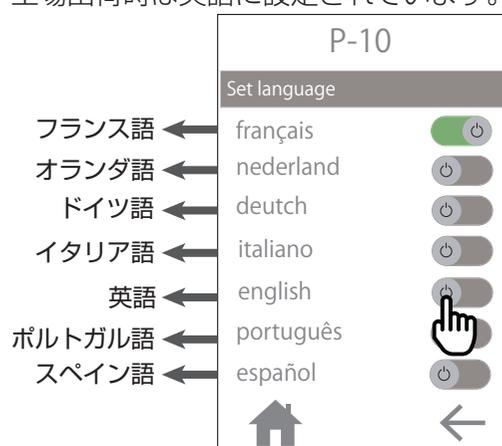
1 メニューで「Set Language (言語の設定)」を選びタッチする。

メニュー画面 (2/3)



2 言語を選び、 ボタンをタッチする。

工場出荷時は英語に設定されています。



## 8 本体とリモコンの設定

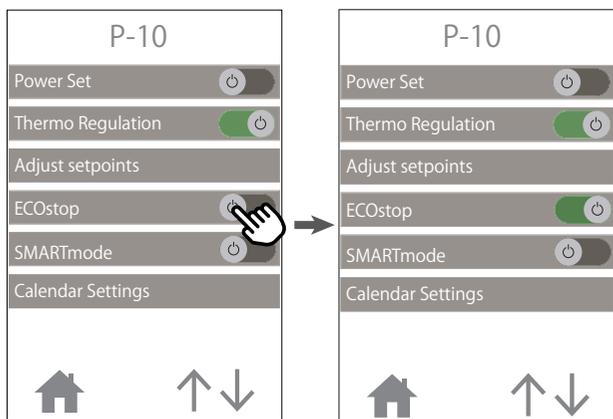
### エコストップ運転 (自動運転時に設定ができます。)

エコストップ運転とは、設定温度が室温より1度上回った状態が5分続くと自動的に消火します。設定温度より室温が1度下回った場合、自動的に点火します。小さなお部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が高めのときに、室温が上がり過ぎると、自動的に消火してペレットの消費を抑えます。

#### ■エコストップ運転の設定

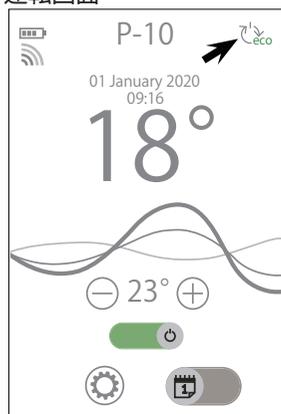
- 1 温度設定して自動運転中にメニュー画面で「ECO stop (エコストップ)」運転ボタンをタッチする。

メニュー画面 (1/3)



- エコストップ運転を設定すると、運転画面に「」マークが表示されます。

運転画面



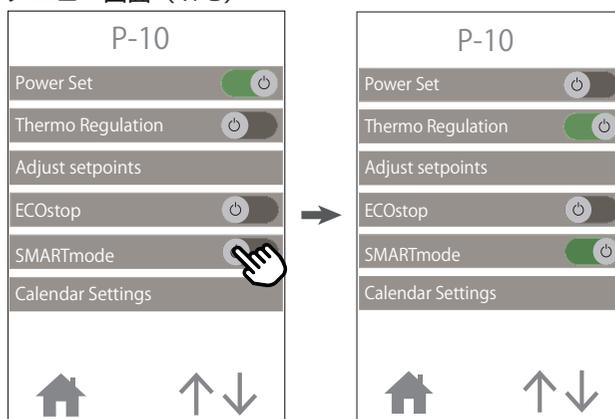
### スマートモード (自動運転時に設定ができます。)

スマートモードとは、設定温度に達する時間をあらかじめ予測して、火力レベルを自動的に調整します。お部屋の暖めすぎを防ぎます。スマートモードを設定していないときは、設定温度に達するまで最大の火力レベルで運転します。

#### ■スマートモードの設定

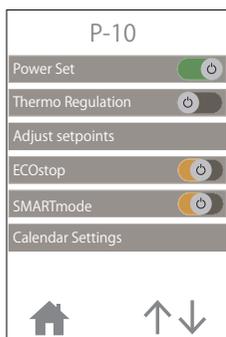
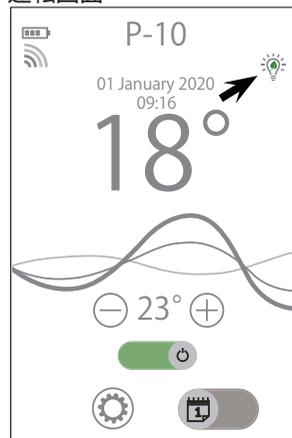
- 1 温度設定して自動運転中にメニュー画面で「SMART mode (スマートモード)」ボタンをタッチする。

メニュー画面 (1/3)



- スマートモードを設定すると、運転画面に「」マークが表示されます。

運転画面

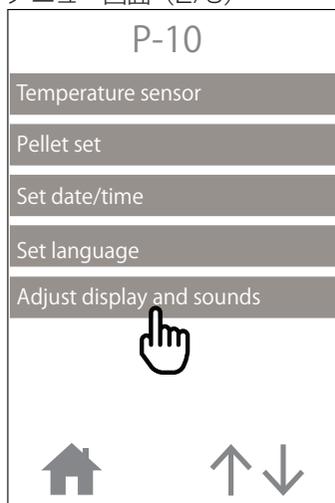


- ←  ボタンがスライド部の中央にあり移動できないときは、手動運転をしています。火力調節のしかたを自動運転に切り替えてからエコストップ運転及びスマートモードを設定してください。

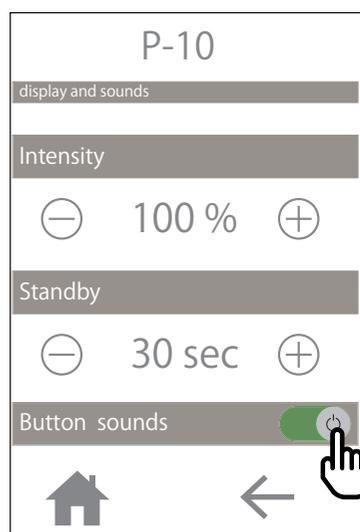
# リモコンの画面と操作音の設定

- 1 メニューで「Adjust display and sounds (画面と操作音の調整)」を選びタッチする。

メニュー画面 (2/3)



- 2 画面の明るさ、消灯時間の変更をする。  
操作音の消音設定をする。



## Intensity 画面の明るさ

⊕ ⊖ で明るさを変更してください。

10 ~ 100% の範囲で明るさを設定することができます。

## Standby 画面の消灯時間

⊕ ⊖ で画面の消灯時間を設定してください。

30 ~ 360 秒まで設定することができます。

設定した時間の間、無操作状態が続くと画面が消灯します。

## Button sounds 操作音の入 / 切設定

⏻ ボタンを右にすると操作音が「入」になります。

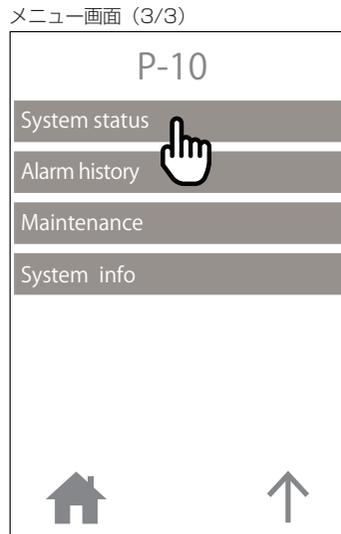
⏪ ボタンを左にすると「切」になります。

## 8 本体情報の見かた

### ストーブの状態を表示する

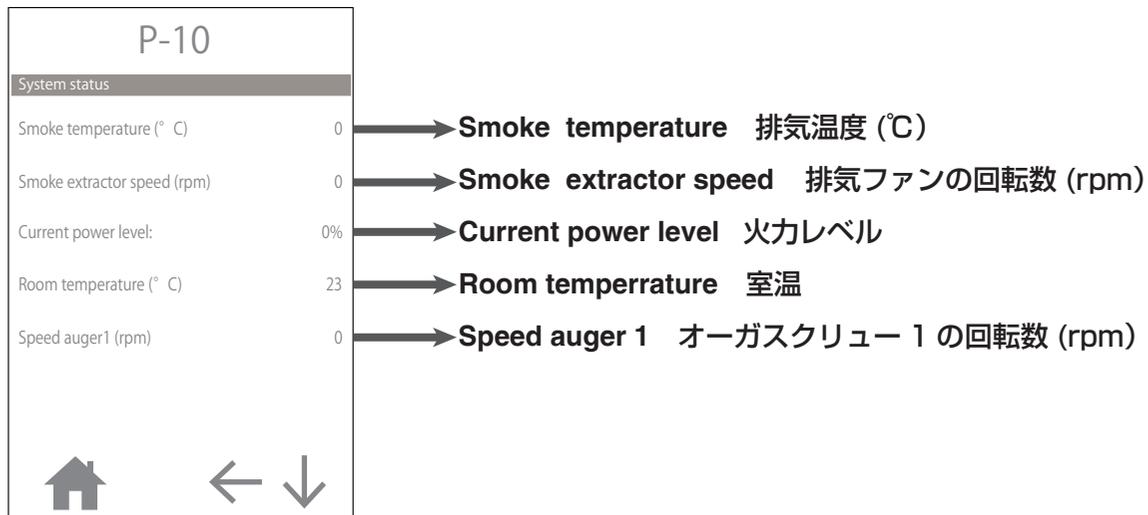
排気温度、排気ファンの回転数など、運転中のストーブの状態を確認することができます。

1 メニュー画面で「System status (システムの状態)」ボタンをタッチする。

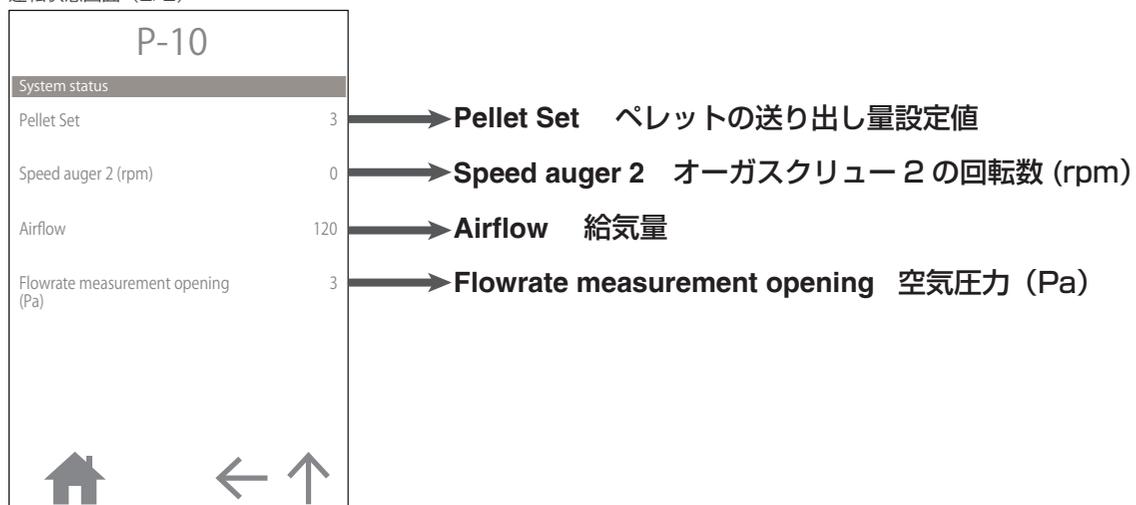


2 運転の状態をみる。 ※運転の状態は常に最新の状態が表示されます。

運転状態画面 (1/2)



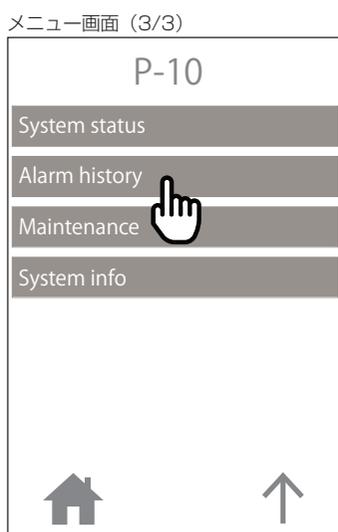
運転状態画面 (2/2)



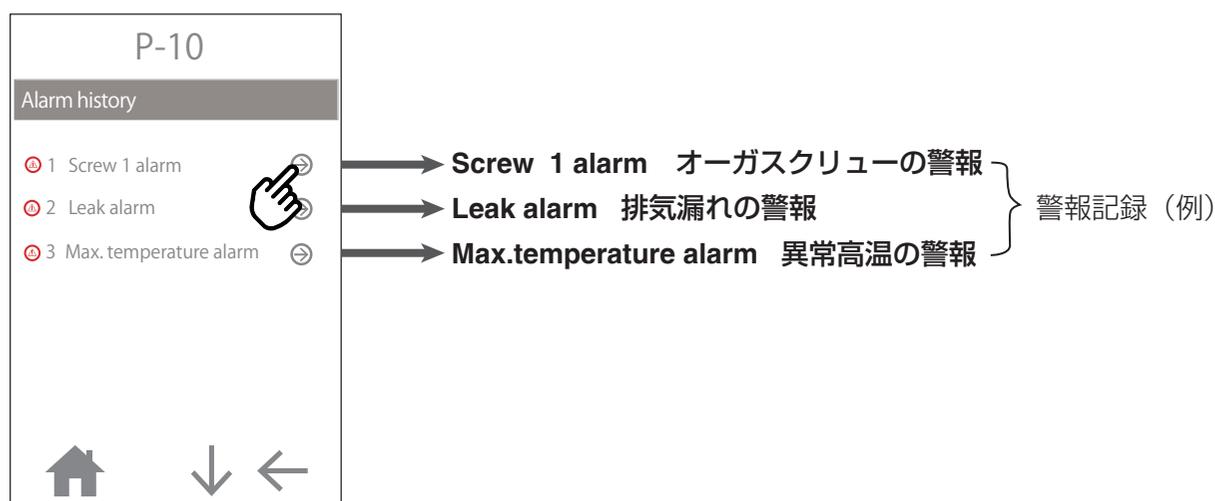
# ストーブの警報記録を表示する

警報の日時、警報の状況、警報が続いた時間の履歴をみることができます。

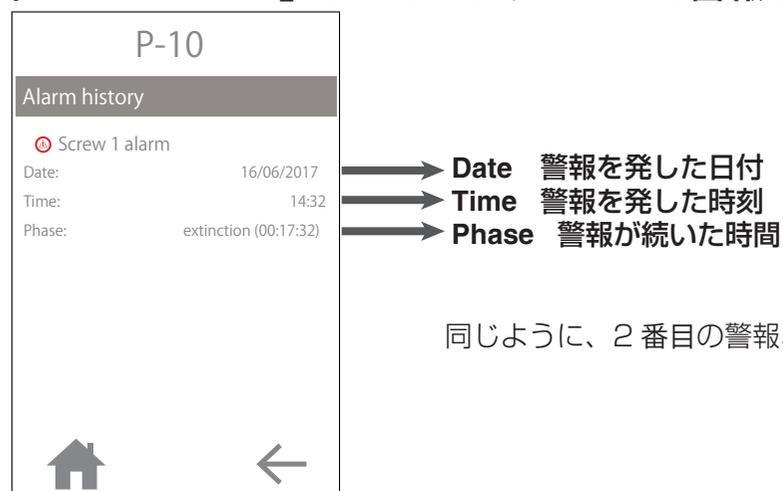
1 メニューで「Alarm history (警報の履歴)」を選びタッチする。



2 1 番目の警報記録を選び、⌂ をタッチする。



3 「Screw 1 alarm」オーガスクリュー1の警報を見る。



同じように、2 番目の警報、3 番目の警報を見ることができます。

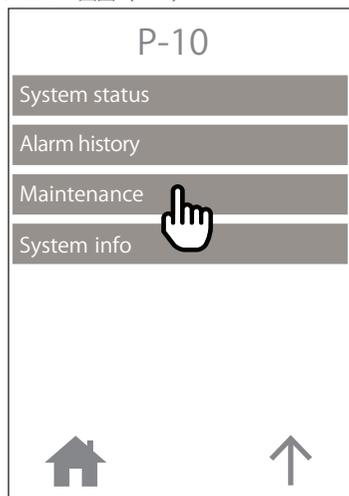
## 9 本体情報の見かた

### 点検までの残り時間を見る

本機では稼働時間を記録し、点検までの時間を算出しています。  
また、点火の回数も記録しています。

1 メニュー画面で「Maintenance (点検)」をタッチする。

メニュー画面 (3/3)



2 点検までの時間を見る。



Total operating hours  
稼働時間 (h)

Total hours remaining  
before maintenance  
点検までの残り時間 (h)

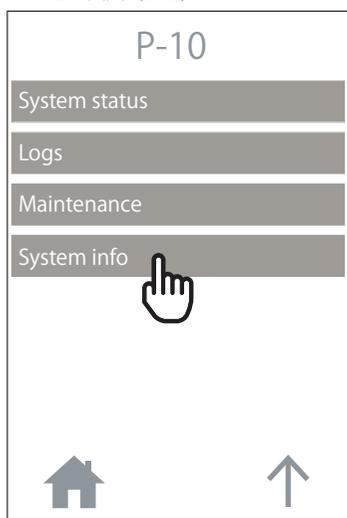
Number of start-ups  
点火した回数

### システム情報を見る

「System info」(システム) 画面には、ストーブ本体やリモコンのソフトウェアに関する情報が表示されます。

1 メニュー画面で「System info (システム情報)」をタッチする。

メニュー画面 (3/3)



2 システム情報を見る。



# 10 日常の点検・手入れ

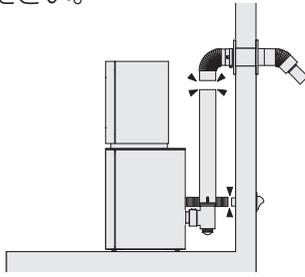
## お願い

- 点検・手入れをするときは、必ずストーブを消火し、ストーブの温度が充分下がってから電源プラグをコンセントから抜いて、おこなってください。やけどや感電をするおそれがあります。
- 部品に触るときや、内部を掃除するときは、手をけがしないように、手袋をはめておこなってください。
- ストーブをベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。
- 電装品の取りはずし、分解はおこなわないでください。

## 給気管・排気管

### シーズンはじめに点検

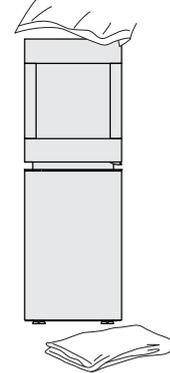
- 給気管・排気管の接続箇所が外れていないか確認してください。
- 屋外の給気管トップ・排気管のトップが鳥の巣やビニール袋などでふさがれていないか確認してください。



## 周囲の可燃物

### 使用のたび

- ストーブの周囲は常に整理、清掃をし、燃えやすいものを置かないでください。
- 排気管トップの周辺には、危険物や障害物がないようにしてください。



## ほこり・汚れ

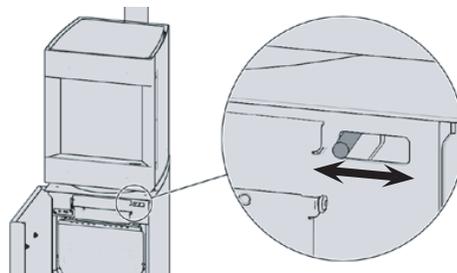
### 使用のたび

- ストーブ外観のほこりや汚れは、乾いたやわらかい布などでふきとってください。ベンジン、シンナーなどでふかないでください。変色します。
- ストーブはいつも掃除して清潔にしてください。汚れたままのご使用は危険のもとですし、ストーブのいたみを早めます。

## 燃焼バーナーの灰落とし

### 使用のたび

- 本体扉を開けて、シェーカーレバーを左右に10回以上動かして、バーナーにたまって灰を灰受けに落としてください。  
(点火するたびに、リモコンに灰落とし作業実施の指示が表示されます。指示に従って作業をしてください。)  
灰落としが終わったら、シェーカーレバーが元の位置(右側)に戻っていることを確認してください。



## 10 日常の点検・手入れ

### 燃焼窓の掃除

使用のたび

- 燃焼窓のガラスはススや灰などが付着して汚れてきます。固めにしぼった濡れ雑巾などで拭き取ってください。研磨剤の入ったクレンザーなどは使用しないでください。

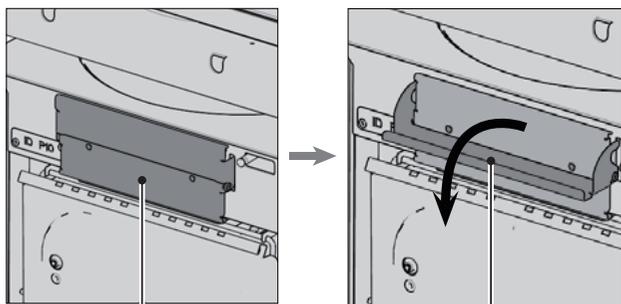


### 灰の除去

1週間に1回以上

- ① 本体扉を開けて、シェーカーレバーを左右に20回ほど動かして、灰を灰受けに落としてください。

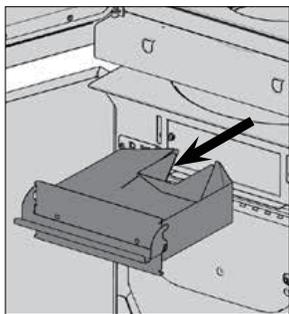
- ② 灰受けの取っ手を手前に倒してください。



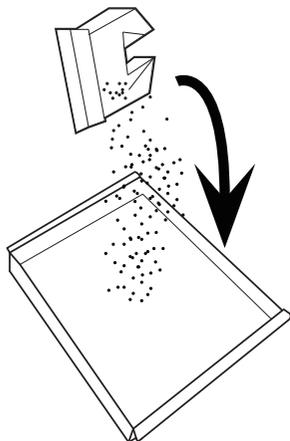
灰受け

取っ手

- ③ 灰受けを引き出してください。



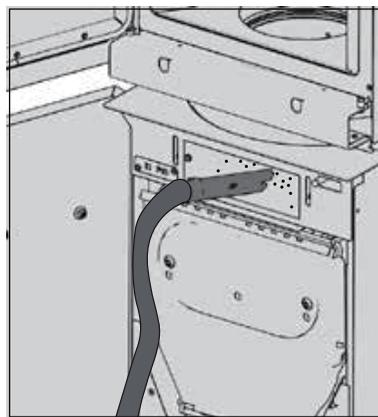
- ④ 灰を金属容器などに入れて除去してください。



#### お願い

- 金属容器に入れた灰は、完全に冷えた状態で処分してください。

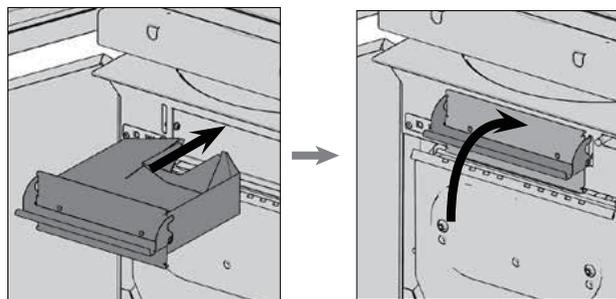
- ⑤ 灰受けの収納部に残った灰は、掃除機などで除去してください。



#### お知らせ

- 別売りの灰用掃除機を用意しています。灰の掃除にご利用ください。紙パック式の掃除機や家庭用掃除機はご使用をお控えください。フィルターが目詰まりしやすく、数回のご使用で掃除機が故障するおそれがあります。

- ⑥ 灰受けを収納部に戻して、取っ手をたたんでください。

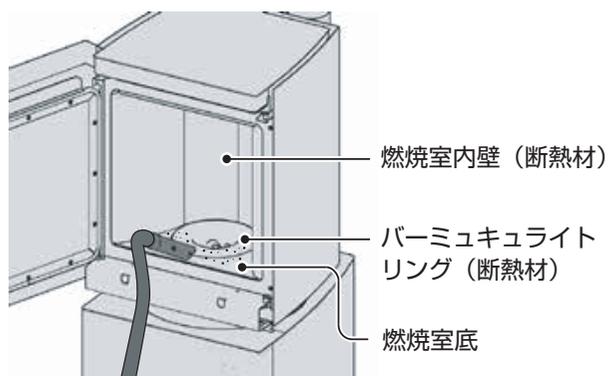


- ⑦ 本体扉を閉めてください。

## 燃焼室内と燃焼バーナーの掃除 1週間に1回以上

①燃焼室扉を開けてください。

②燃焼室内壁（断熱材）に付いた灰やススはやわらかいブラシや乾いた布などで落としてください。バーミキュライトリング（断熱材）の上や燃焼室底にたまった灰を掃除機などで除去してください。



### ⚠️ 注意

#### ★燃焼室内お手入れ時の注意

●燃焼室内は、ベンジン、シンナー、洗剤類でふかないでください。また、研磨剤の入ったクレンザー、化学雑巾などはご使用しないでください。

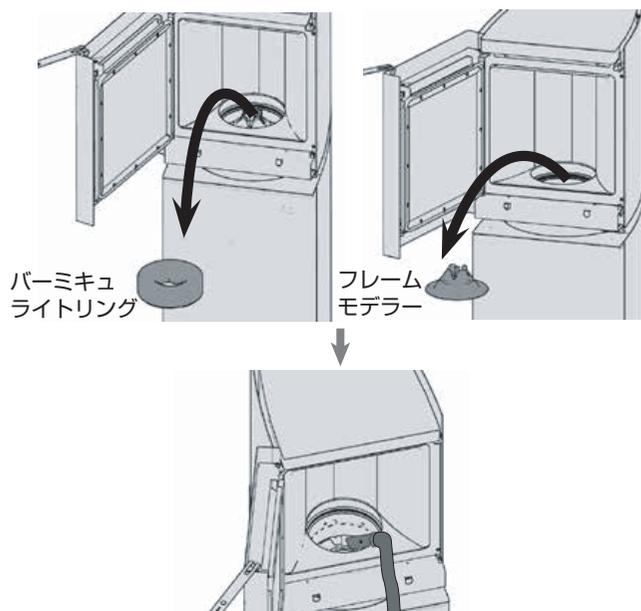
変色、塗装の剥がれなどの原因になります。

●燃焼室内の断熱材（内壁、バーミキュライトリング）は水分を含むと破損しやすくなるため、必ずやわらかいブラシや乾いた布を使用してください。



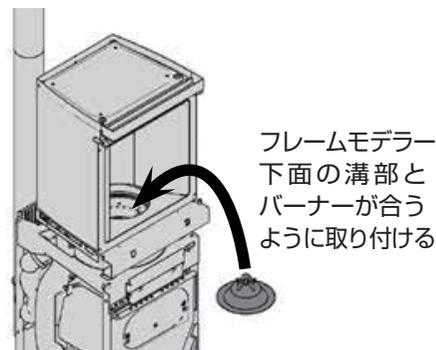
注意

③バーミキュライトリング、フレームモデラーを取り外して、バーナーにたまった灰を掃除機などで除去してください。



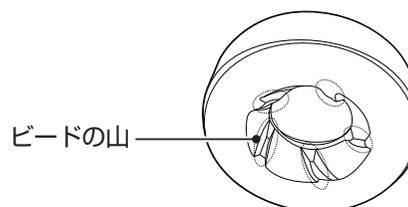
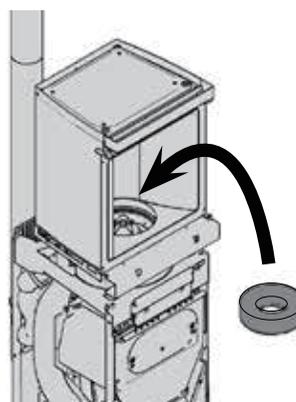
④バーミキュライトリング、フレームモデラーを元に戻して、燃焼室扉を閉めてください。

●フレームモデラーを正しくセットしてください。



フレームモデラー  
下面の溝部と  
バーナーが合う  
ように取り付ける

●ビードの山がある方を下にして、バーミキュライトリングをセットしてください。



ビードの山

#### お願い

●燃焼室の底面に対して、バーミキュライトリングが浮いている場合は、フレームモデラーが正しく組み付いていない可能性があります。バーミキュライトリングを取り外して、再度、フレームモデラーを正しく組み付けてください。

## 10 日常の点検・手入れ

### 電源プラグ、コンセント 1シーズンに1~2回以上

電源プラグ、コンセントにほこりや汚れがたまると火災の原因になることがあります。電源プラグをコンセントから抜いて、付着したほこりや汚れを取り除いてください。

## 11 シーズンオフの点検・手入れ

### 給気経路、排気経路の掃除 シーズンオフ

本体内部の給気経路・排気経路や給気管・排気管にほこりやススなどの汚れや灰が蓄積すると、燃焼に悪影響する場合があります。販売店に掃除を依頼してください。

### ストーブのメンテナンス シーズンオフ

- 燃焼室扉の裏側にあるガラスローブパッキンの密閉状態を点検してください。パッキンが劣化したり、やぶれたりして密閉できないときは交換してください。
- 燃焼バーナーや燃焼室内の断熱材を清掃・点検してください。破損したり、汚れがひどい場合は交換してください。
- 燃料タンクやオーガスクリューにあるペレットを空にして清掃をしてください。

ストーブのメンテナンスは、「給気経路、排気経路の掃除」と合わせて、販売店へ依頼することをおすすめします。

## 12 定期点検

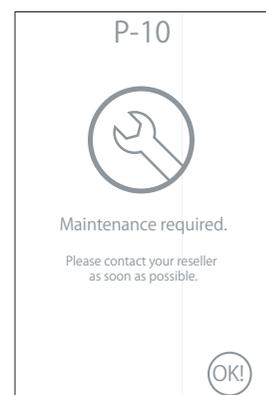
1年に1回程度（シーズンオフ）または、1,500時間使用ごとに、お買い求めの販売店、または弊社 **お客様相談窓口**（0120-938-178）に点検を依頼してください。機器の寿命をより長く、より良い燃焼で快適に安全に使用するために点検（有料）をおすすめします。

### ■点検時期お知らせ機能について

- ストーブの使用時間（1,500時間）が点検時期になりましたら、リモコンの画面部に「Maintenance required.」を表示して点検時期をお知らせします。
- 「Maintenance required.」を表示しても故障ではありませんので、使用はできますが、機器の寿命をより長く、より良い燃焼状態で快適に安全にお使いいただくために点検（有料）をおすすめします。

### ■補修用性能部品について

補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。ペレットストーブの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後7年です。



# 13 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

## 故障かな

まず、次の確認をしてください。  
それでも直らないときは、必ず、電源プラグを抜いて、販売店へ修理を依頼してください。

こんなときは	ここを確かめてください
点火しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●購入後はじめてご利用になるときや燃料切れしたあとは、燃料経路（オーガスクリュー）にペレットが満たされていないため、点火しないことがあります。 →もう一度運転スイッチを入れて再運転をおこなってください。</li> <li>●燃焼バーナー内に灰がたまっていると点火しづらくなります。 →シェーカーレバーを操作して灰を落としてください。</li> <li>●ペレット燃料が湿っていませんか？</li> </ul>
点火時に煙が出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点火時に燃焼室内に煙が一時的に充満することがありますが、異常ではありません。</li> <li>●点火時に短時間、排気用トップから煙が出ることがありますが、異常ではありません。</li> </ul>
ニオイが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●購入後、初めてご使用になるとき、製品の塗料やパッキンが焼けるようなニオイがする場合があります。 →お部屋の窓を少し開け、半日から一日程度運転してください。</li> </ul>
ガリガリと音がする	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペレットを送る際にガリガリと音がする場合がありますが、異常ではありません。</li> </ul>
途中消火した	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペレット燃料が少なくなっていますか、空になっていませんか？ →ペレットが少なくなったり、空になっている場合は補給してください。(13 ページ)</li> <li>●ペレット燃料の保管状況は適切ですか？ →湿気が多い場所や雨風の当たるところで保管すると、ペレット燃料が湿る原因になります。湿ったペレット燃料は途中消火の原因になりますので、適切な場所で保管してください。</li> </ul>
燃焼中に排気用トップからススが出る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃焼バーナー内の残灰を取り除かずにとまったまま運転を続けると、異常燃焼してススが出る場合があります。 →燃焼室内、燃焼バーナー、灰受け皿に残っている全ての灰を取り除いてください。</li> </ul>
炎が大きくなり、燃焼窓にススが付着する	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃焼バーナーの上にあるフレームモデラーが正しくセットされていますか？ →正しくセットしないと、異常燃焼してススが出る場合があります。</li> </ul>
燃焼窓のガラスが曇る	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃焼ガスが燃焼窓に触れて細かい灰が付着して、曇ることがありますが、異常ではありません。 →「燃焼窓の掃除」(35 ページ) を参照して掃除をしてください。</li> </ul>
ペレットが燃焼バーナーへ送り出されない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ペレット燃料が空になっていませんか？ →空になっている場合は補給してください。(13 ページ)</li> </ul>
消火時間が長い 点火時間が長い	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料タンクから燃焼バーナーへの経路が長いので、点火や消火に時間がかかります。異常ではありません。</li> </ul>
スケジュール運転ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手動運転のときはスケジュール運転に入りません。 →自動運転に切り替えてください。(24 ページ)</li> </ul>
リモコンの操作ができない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本体の電源プラグが外れていませんか？ →電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。 (本体の電源プラグをコンセントに差し込まないと、リモコンの画面は表示しません。)</li> <li>●リモコンが充電されていませんか。→リモコンを充電してください。</li> <li>●リモコンと本体の通信が切れていませんか？ →切れている場合はペアリングをしてください。(16 ページ)</li> </ul>
リモコンの画面が消える	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンの無操作状態が続くと画面が消灯します。画面にタッチすると表示がでます。</li> </ul>
リモコン画面消灯から復帰時に表示が切替わる	<ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコン消灯から復帰するときは、消灯する前の表示を一旦表示した後、少ししてから現在の状態に切替わります。</li> </ul>
リモコンで運転切操作しても運転 OFF できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点火操作をして、しばらくの間はリモコンで運転停止することができません。運転開始直後に運転を停止したい場合は、本体右下にある緊急消火ボタンを使って消火してください。</li> </ul>

## 13 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

### エラー表示一覧

安全装置が作動すると、リモコンの表示部にエラー表示をすると同時に、警告音を出してエラーお知らせします。

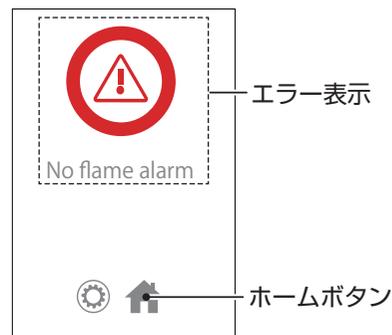
**ホームボタンを押し続けると、エラー表示が解除されます。**

解除する前に必ずエラー表示を確認してください。

解除したときに冷却中の場合は、リモコン表示に「...cooling」を表示します。

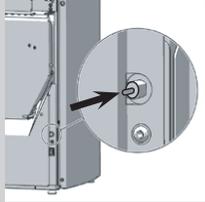
**※印がついている警報(エラー表示)は、ホームボタンを押して解除できるようになるまで約5分待つ必要があります。**

処置をしてもエラーを繰り返すときは、お買い求めの販売店または、弊社の **お客様相談窓口** に連絡をしてください。



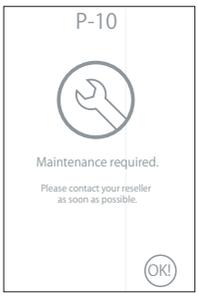
エラー表示	原因	処置方法
 (※) No flame alarm	炎が消えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料タンクにペレットが入っていることを確認してください。入っていない場合は補給して再点火してください。</li> </ul>
 (※) Negative pressure alarm	強風の影響を受けて排気側が逆圧になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●強風がおさまってから再運転してください。</li> </ul>
	室内が極端な負圧になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●レンジフードが稼働している場合は、停止してください。</li> <li>●住宅の換気システムが負圧の原因になっていないか確認してください。</li> <li>●換気口・吸気口は常に確保してください。</li> </ul>
 (※) Not lit alarm	点火動作中に点火ができない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料タンクにペレットが入っていることを確認してください。入っていない場合は補給して再点火してください。</li> <li>●燃烧バーナーの灰や燃え残ったペレットを取り除いてください。</li> </ul>
 (※) Screw 1 alarm	オーガスクリュー 1 の回転速度が低下しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 (※) Screw 2 alarm	オーガスクリュー 2 の回転速度が低下しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 (※) Room sensor alarm	本体内部またはリモコンにある室温センサーの故障です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 (※) Screw speed ratio alarm	オーガスクリュー 1・2 ともに回転速度が低下しています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>

## エラー表示一覧(つづき)

エラー表示	原因	処置方法
 (※) Max. temperature alarm	ストープの内部が異常高温になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストープが冷めてから燃焼バーナーの灰を取り除き、灰落としプレートが閉まっていることを確認してください。灰落としプレートが開いたままのときは、シェーカーレバーを左右に何度か動かして閉めてください。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>お知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ストープの内部温度が完全に冷えたあと、ストープを再点火する前に本体下部にある赤色のピンを奥に押ししてください。</li> </ul>  </div>
 (※) Smoke sensor alarm	本体内部の排気管に取り付けてある排気温度センサーの故障です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 (※) Extractor alarm	本体内部にある排気ファンの回転異常です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 (※) Flow alarm	本体内部にある空気量センサーの異常です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 (※) Smoke temperature alarm	排気の温度が異常に高くなっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃焼バーナーの灰を取り除いてください。</li> <li>● 上記の処置をしても直らないときは、お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> に依頼して排気経路や排気管などの掃除をしてください。</li> </ul>
 (※) Circuit board temperature alarm	基板の温度が70℃以上になっています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
 Leak alarm	燃焼室扉が開いています。	処置をして直らない場合は、灰やススによる排気管の詰まりや給気口の詰まりが考えられるため、お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> へご相談ください。
	灰受け皿が正しくセットされていません。	

## 13 故障・異常の見分けかたと処置のしかた

### エラー表示一覧(つづき)

エラー表示	原因	処置方法
 <p>Black-out</p>	<p>停電して、10分間通電がありませんでした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃焼バーナーと灰受け皿の掃除をしてから再運転してください。</li> </ul>
 <p>Remote control communication alarm</p> <p>※ 燃焼中は運転を継続したまま、エラー表示を出します。</p>	<p>リモコンが通信できる範囲外にあります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンをストーブ本体に近づけてください。</li> </ul>
	<p>リモコンと本体の通信ができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃焼中のときは、ペレットがなくなり火が消えるまで待つか、本体の緊急消火ボタンで消火してください。</li> <li>● 本体の電源プラグを抜いていた場合は、電源プラグをコンセントに差し込んでください。差し込み後、リモコンのペアリングをしてください。(16 ページ)</li> </ul>
 <p>ThingsPlay/Hottoh communication alarm</p> <p>※ 燃焼中は運転を継続したまま、エラー表示を出します。</p>	<p>リモコンと本体の通信ができません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 燃焼中のときは、ペレットがなくなり火が消えるまで待つか、本体の緊急消火ボタンで消火してください。</li> <li>● 点検・修理が必要です。お買い求めの販売店または、弊社の <b>お客様相談窓口</b> にご相談ください。</li> </ul>
	<p>燃料タンクのペレットが少なくなっています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペレットを補給してください。</li> </ul> <p>※ 燃料タンク内の残量が少なくなると表示します。表示されている時間内に燃料補給がされていないと、ストーブが OFF し、下記の「Hopper empty!」表示が出ます。</p>
	<p>燃料タンクのペレットが空になり、消火動作中、もしくは消火しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストーブが完全に冷めたら、灰の除去 (35 ページ) をしてから、ペレットを補給して運転をしてください。</li> </ul>
	<p>ストーブの使用時間が点検時期になりました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 詳しくは 37 ページをご覧ください。</li> </ul>

## 14 廃棄するとき

- ストーブを廃棄するときは、燃料タンクのペレットを抜き、各自治体の指導に従って廃棄してください。
- 本機のリモコンに内蔵しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。  
リモコンを廃棄するときは、リチウムイオン電池が取り出せないため、弊社の **お客様相談窓口** にご相談ください。(リモコンを家庭ゴミとして捨てないでください。)

## 15 部品交換のしかた

### 部品交換のときの注意

- 部品交換や修理をお受けになる場合は、販売店もしくは当社で修理されることを推奨します。
- 不完全な修理は危険です。
- 故障したものは使わないでください。
- 短時間に消耗する部品は特にありませんが、交換部品が必要な場合は、お買い求めになった販売店にご相談ください。
- 部品は必ず純正部品をご使用ください。
- 部品を交換するときは、ストーブを消火し、ストーブが充分冷めて、電源を抜いてからおこなってください。

## 16 アフターサービス

### 保証について

★保証期間はお買い求めより 1 年間です。

#### ■修理を依頼するとき

- 「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」(38・39・40・41 ページ) に従って、お調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店、もしくは弊社にご連絡ください。
- ご連絡いただきたい内容は次の通りです。
  - ①品名…ペレットストーブ
  - ②名称… Stuv P-10
  - ③製造番号… 6桁数字(本体扉を開けたアンダーカバーに記載)
  - ④お買い求め年月日
  - ⑤故障の状況(できるだけ具体的に)
  - ⑥おなまえ・おところ・電話番号
- 裏表紙の保証書の規定にしたがって、販売店、または弊社が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
- 修理料金は、技術料、部品代、出張料などで構成されています。

この取扱説明書とストーブに表示されている禁止事項・注意事項および通常使用に反して使用された場合の故障、事故につきましては、保証いたしません。

### 補修用性能部品について

- ストーブの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後 7 年です。
- 補修用性能部品とは、ストーブの機能を維持するために必要な部品です。

### 故障・修理の際の連絡先

株式会社 **トヨトミ** お客様相談窓口



**0120-938-178**

受付時間 平日(月曜～金曜) 午前9時～午後5時  
※土・日・祝日は除く

■FAX

**052-857-1220**

### 据付け・移設について

- ストーブを設置する場所には、建築基準法や電気設備に関する技術基準、消防法に基づく火災予防条例に定められた設置をする必要があります。
- 施工上の責任は当社では負いかねます。

#### ■据付け・移設工事は必ず当社指定店にご依頼ください。

据付けや移設工事は据付業者に依頼し、お客様ご自身ではおこなわないでください。

株式会社 トヨタ ペレットストーブ保証書

型式 Stuv P-10 保証期間 本体1年間

※お買い求め日 年 月 日

※お客様 様

ご芳名 様

〒□□□-□□□□

ご住所

[電話 ( ) ]

本保証書は、本書記載内容により無料修理をおこなうことをお約束するものです。

お買い求めの日から左記期間内に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い求めの販売店に修理をご依頼ください。

※販売店名・住所・電話番号

※印欄に記入がない、あるいは購入・支払いを証明するものがない場合は有料修理となりますから必ず確認して、購入証明書(領収書)を保管してください。

【 無 料 修 理 規 定 】

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、お買求めの販売店または弊社が無料修理致します。
- 取扱説明書に記入してある販売店に修理を依頼できない場合は、弊社までお問い合わせください。
- 保証期間内でも、次の場合は有料になります。  
 (イ)取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意事項に従わない誤った使用、及び不当な修理や改造による故障や損傷。  
 (ロ)お買い求め後の、器具の転倒、落下、衝撃・輸送等による故障や損傷。  
 (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害その他環境要因による故障や損傷。  
 (ニ)推奨外の燃料の使用による故障や損傷。  
 (ホ)部品の消耗による故障や損傷、部品交換及びメンテナンスの費用。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い求めの販売店または、弊社までお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書の「アフターサービス」の項をご覧ください。
- お客様の個人情報は、当社規定により、厳格に管理します。保証期間内のサービス活動、及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

修理メモ

輸入元 株式会社 トヨタ

〒467-0855 名古屋市瑞穂区桃園町5番17号

お客様相談窓口



0120-938-178

受付時間 平日(月曜～金曜)午前9時～午後5時

※土・日・祝日は除く

FAX 052-857-1220